Business　Survey　Index　　令和 2 年 10-12 月 第 128 回

企業経営者意識調査

令和 2 年 10-12 月の概要

P 1

調査結果

1　経営状況　P 4

2　雇用状況　P 8

3　在庫、価格水準　P 12

4　設備投資の状況　P 14

5　地域別にみる各産業の動向　P 16

6　道内の景況感　P 24

7　業種・地域別企業経営者の声　P 25

8　業況感の長期推移　P 31

特別調査

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について　P 32

2　事業継続の取組について　P 41

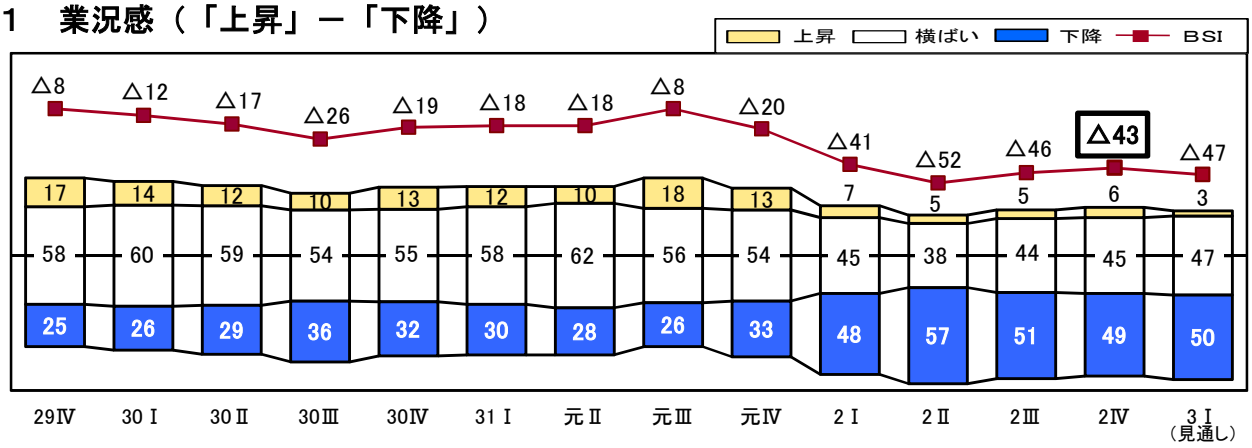
調査方法

P 42

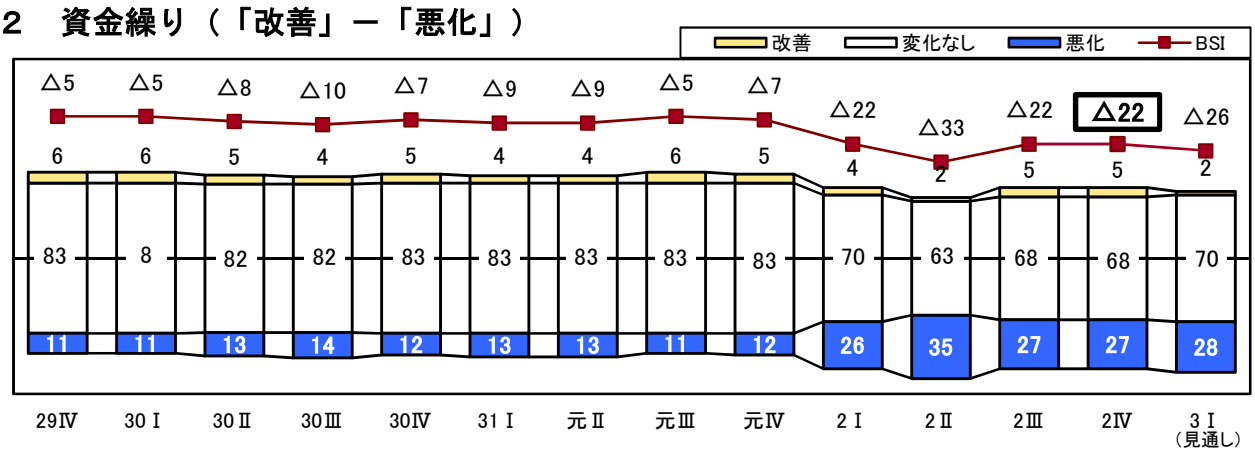
1　令和 2 年 10-12 月の概要

- □ 調査対象企業数 900 社、回答社数 590 社、回答率 65.6%
- □ 業況感は、前期から 3 ポイント上昇し、△43 ポイント。（２期連続で上昇）
  - ・ 業種別では、製造業、卸売・小売業、運輸業で上昇、サービス業で横ばい、建設業で下降。
  - ・ 地域別では、道央、道北、オホーツク、釧路・根室で上昇、道南、十勝で下降。
  - ・ 来期（1-3 月）見通しは、今期から 4 ポイント下降し、△47 ポイント。
- □ 資金繰りは、△22 ポイントで、前期から横ばい。
- □ 雇用者総数は、前期から 3 ポイント下降し、12 ポイント。

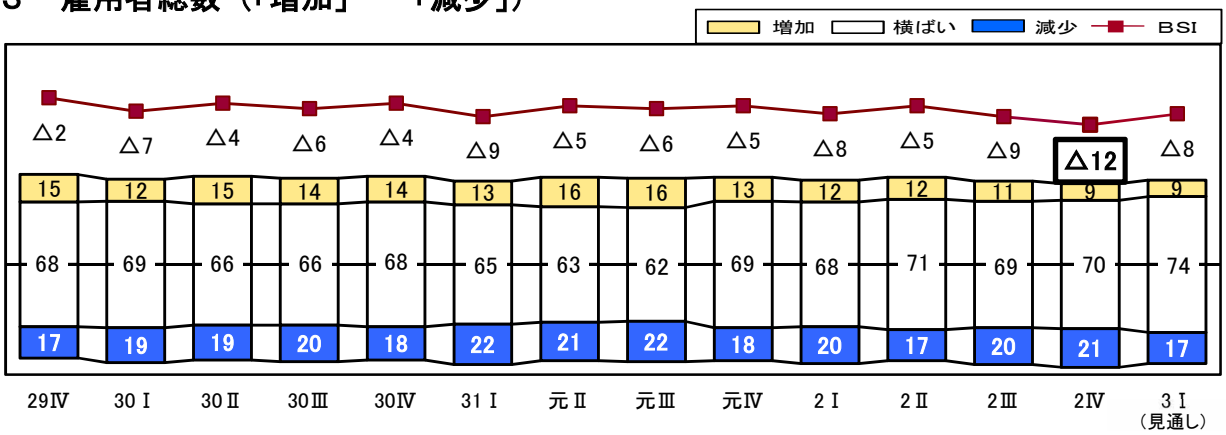
1　業況感（「上昇」－「下降」）



2　資金繰り（「改善」－「悪化」）



3　雇用者総数（「増加」－「減少」）



4　業種・地域別の業況感

ア　実績と見通し

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績					R3年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 46	6	45	49	△ 43	3	3	47	50	△ 47	△ 4
業種	建設業	△ 13	6	72	22	△ 16	△ 3	8	61	31	△ 23	△ 7
	製造業	△ 40	8	45	47	△ 39	1	3	51	46	△ 43	△ 4
	卸売･小売業	△ 59	9	41	50	△ 41	18	3	50	47	△ 44	△ 3
	運輸業	△ 55	4	41	55	△ 51	4	0	48	52	△ 52	△ 1
	サービス業	△ 54	5	36	59	△ 54	0	3	34	63	△ 60	△ 6
資本金	5千万円未満	△ 50	6	42	52	△ 46	4	4	42	54	△ 50	△ 4
	5千万以上～1億円未満	△ 42	7	55	38	△ 31	11	2	55	43	△ 41	△ 10
	1億円以上	△ 34	5	48	47	△ 42	△ 8	2	58	40	△ 38	4
地域	道南	△ 40	7	44	49	△ 42	△ 2	0	50	50	△ 50	△ 8
	道央	△ 47	6	44	50	△ 44	3	5	44	51	△ 46	△ 2
	道北	△ 45	6	48	46	△ 40	5	1	52	47	△ 46	△ 6
	オホーツク	△ 53	5	52	43	△ 38	15	3	45	52	△ 49	△ 11
	十勝	△ 42	8	40	52	△ 44	△ 2	5	46	49	△ 44	0
	釧路･根室	△ 46	8	42	50	△ 42	4	3	48	49	△ 46	△ 4

イ　主な上昇･下降業種（中分類）

大分類	上昇業種	下降業種
建設業 （▲13→▲16）	設備工事業（▲45→▲30）	総合工事業（▲7→▲13）
製造業 （▲40→▲39）	木材・木製品製造業（▲90→▲67） 生産用機械器具製造（▲64→▲56）	食料品製造（▲41→▲45） 窯業・土石製品製造業（▲11→▲40） 金属製品製造業（▲42→▲67） 輸送用機械器具製造業（60→14）
卸売･小売業 （▲59→▲41）	飲食料品卸売業（▲63→▲41） 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲50→▲42） 機械器具卸売業（▲50→▲25） その他の卸売業（▲37→▲25） 機械器具小売業（▲71→▲10） その他の小売業（▲72→▲50）	飲食料品小売業（▲42→▲57）
運輸業 （▲55→▲51）		道路貨物運送業（▲33→▲35） 倉庫業（▲19→▲20
サービス業 （▲54→▲54）	宿泊業（▲83→▲71） 飲食店（▲100→▲65） 廃棄物処理業（▲38→▲17） 自動車整備業（▲53→▲39）	情報サービス業（▲25→▲30） 物品賃貸業（▲31→▲60） 広告業（▲60→▲75） 技術サービス業（▲20→▲29） 洗濯･理容･美容･浴場業（▲64→▲92） 職業紹介・労働者派遣業（▲60→▲83）

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

ウ　地域別の上昇･下降業種（大分類）

地　域	上昇業種（大分類）	下降業種（大分類）
道南（▲40→▲42）	製造業（▲27→▲16） 卸売･小売業（▲74→▲62）	建設業（25→0） 運輸業（▲50→▲56） サービス業（▲45→▲60）
道央（▲47→▲44）	製造業（▲40→▲33） 卸売･小売業（▲54→▲43） 運輸業（▲52→▲46）	建設業（▲26→▲27） サービス業（▲53→▲57）
道北（▲45→▲40）	建設業（▲18→▲13） 卸売･小売業（▲46→▲18） サービス業（▲52→▲42）	製造業（▲50→▲54） 運輸業（▲60→▲64）
オホーツク（▲53→▲38）	卸売･小売業（▲77→▲23） 運輸業（▲88→▲73） サービス業（▲72→▲36）	製造業（▲30→▲64）
十勝（▲42→▲44）	建設業（▲20→▲9） 卸売･小売業（▲62→▲39） 運輸業（▲34→▲30）	製造業（▲55→▲83） サービス業（▲44→▲53）
釧路･根室（▲46→▲42）	製造業（▲36→0） 運輸業（▲62→▲45） サービス業（▲66→▲61）	建設業（▲9→▲27） 卸売･小売業（▲50→▲67）

（括弧内の数字は、前期→今期の変化）

2　調査結果

1　経営状況

（1）　業況感

今期の業況感ＢＳＩは △ 43 （前期から３ポイント上昇）

・業種別にみると、製造業、卸売・小売業、運輸業でマイナス幅が縮小、サービス業で横ばい、建設業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道央、道北、オホーツク、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南、十勝でマイナス幅が拡大

来期の業況感ＢＳＩは △ 47 （今期から４ポイント下降）

図1-(1) 業況感

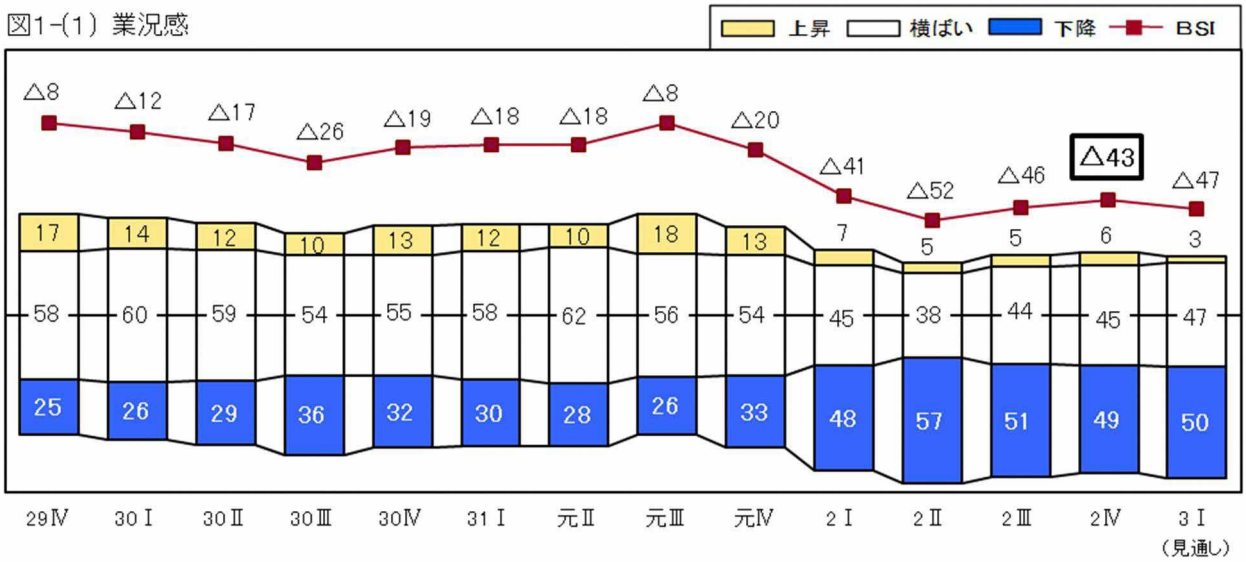


表1-(1) 業況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績					R3年1-3月見通し				
			上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 46	6	45	49	△ 43	3	3	47	50	△ 47	△ 4
	札幌市を除く	△ 45	6	46	48	△ 42	3	3	47	50	△ 47	△ 5
	札幌市	△ 49	7	43	50	△ 43	6	7	43	50	△ 43	0
業種	建設業	△ 13	6	72	22	△ 16	△ 3	8	61	31	△ 23	△ 7
	製造業	△ 40	8	45	47	△ 39	1	3	51	46	△ 43	△ 4
	卸売･小売業	△ 59	9	41	50	△ 41	18	3	50	47	△ 44	△ 3
	運輸業	△ 55	4	41	55	△ 51	4	0	48	52	△ 52	△ 1
	サービス業	△ 54	5	36	59	△ 54	0	3	34	63	△ 60	△ 6
資本金	5千万円未満	△ 50	6	42	52	△ 46	4	4	42	54	△ 50	△ 4
	5千万以上～1億円未満	△ 42	7	55	38	△ 31	11	2	55	43	△ 41	△ 10
	1億円以上	△ 34	5	48	47	△ 42	△ 8	2	58	40	△ 38	4
地域	道南	△ 40	7	44	49	△ 42	△ 2	0	50	50	△ 50	△ 8
	道央	△ 47	6	44	50	△ 44	3	5	44	51	△ 46	△ 2
	札幌市を除く	△ 45	5	45	50	△ 45	0	3	46	51	△ 48	△ 3
	札幌市	△ 49	7	43	50	△ 43	6	7	43	50	△ 43	0
	道北	△ 45	6	48	46	△ 40	5	1	52	47	△ 46	△ 6
	オホーツク	△ 53	5	52	43	△ 38	15	3	45	52	△ 49	△ 11
	十勝	△ 42	8	40	52	△ 44	△ 2	5	46	49	△ 44	0
	釧路･根室	△ 46	8	42	50	△ 42	4	3	48	49	△ 46	△ 4

（２）　売上（生産）高

今期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 45 （前期から６ポイント上昇）

・業種別にみると、卸売・小売業、サービス業でマイナス幅が縮小、建設業、運輸業で横ばい、製造業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南でマイナス幅が拡大

来期の売上（生産）高ＢＳＩは △ 49（今期から４ポイント下降）

図1-(2) 売上(生産)高

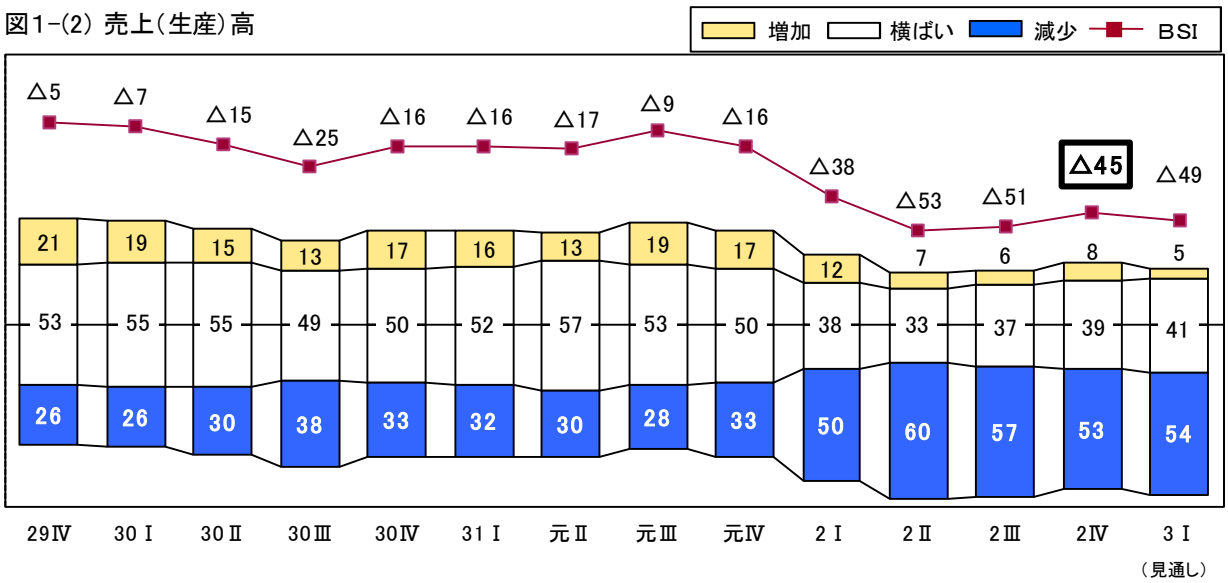


表1-(2)　売上(生産)高(業種・資本金・地域別)

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績					R3年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 51	8	39	53	△ 45	6	5	41	54	△ 49	△ 4
	札幌市を除く	△ 51	8	39	53	△ 45	6	4	41	55	△ 51	△ 6
	札幌市	△ 54	9	40	51	△ 42	12	9	41	50	△ 41	1
業種	建設業	△ 20	10	60	30	△ 20	0	8	59	33	△ 25	△ 5
	製造業	△ 44	9	36	55	△ 46	△ 2	6	41	53	△ 47	△ 1
	卸売･小売業	△ 65	14	31	55	△ 41	24	6	41	53	△ 47	△ 6
	運輸業	△ 56	3	38	59	△ 56	0	2	41	57	△ 55	1
	サービス業	△ 59	5	35	60	△ 55	4	3	32	65	△ 62	△ 7
資本金	5千万円未満	△ 55	8	36	56	△ 48	7	4	37	59	△ 55	△ 7
	5千万以上～1億円未満	△ 49	10	44	46	△ 36	13	6	48	46	△ 40	△ 4
	1億円以上	△ 37	7	44	49	△ 42	△ 5	6	54	40	△ 34	8
地域	道南	△ 44	7	38	55	△ 48	△ 4	1	44	55	△ 54	△ 6
	道央	△ 50	7	39	54	△ 47	3	6	39	55	△ 49	△ 2
	札幌市を除く	△ 45	6	38	56	△ 50	△ 5	3	38	59	△ 56	△ 6
	札幌市	△ 54	9	40	51	△ 42	12	9	41	50	△ 41	1
	道北	△ 56	6	42	52	△ 46	10	1	46	53	△ 52	△ 6
	オホーツク	△ 60	9	44	47	△ 38	22	3	40	57	△ 54	△ 16
	十勝	△ 44	13	35	52	△ 39	5	8	46	46	△ 38	1
	釧路･根室	△ 55	8	37	55	△ 47	8	7	38	55	△ 48	△ 1

（３）　経常利益

今期の経常利益ＢＳＩは △ 43（前期から７ポイント上昇）

・業種別にみると、建設業、製造業、卸売・小売業、運輸業でマイナス幅が縮小、サービス業で横ばい
・地域別にみると、道央、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南でマイナス幅が拡大

来期の経常利益ＢＳＩは △ 48（今期から５ポイント下降）

図1-(3) 経常利益

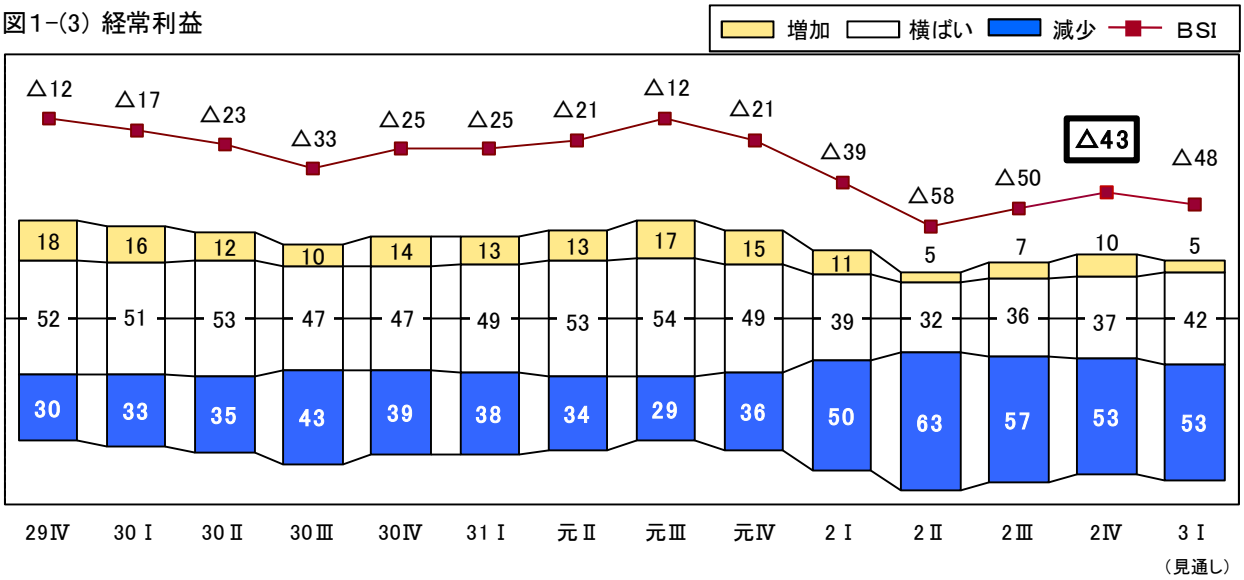


表1-(3) 経常利益（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績					R3年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 50	10	37	53	△ 43	7	5	42	53	△ 48	△ 5
	札幌市を除く	△ 50	9	38	53	△ 44	6	4	42	54	△ 50	△ 6
	札幌市	△ 54	11	39	50	△ 39	15	10	41	49	△ 39	0
業種	建設業	△ 28	12	55	33	△ 21	7	8	52	40	△ 32	△ 11
	製造業	△ 52	9	39	52	△ 43	9	4	44	52	△ 48	△ 5
	卸売･小売業	△ 54	14	36	50	△ 36	18	6	44	50	△ 44	△ 8
	運輸業	△ 54	7	35	58	△ 51	3	3	42	55	△ 52	△ 1
	サービス業	△ 56	7	30	63	△ 56	0	4	33	63	△ 59	△ 3
資本金	5千万円未満	△ 52	9	34	57	△ 48	4	5	38	57	△ 52	△ 4
	5千万以上～1億円未満	△ 51	13	42	45	△ 32	19	5	44	51	△ 46	△ 14
	１億円以上	△ 44	8	49	43	△ 35	9	6	56	38	△ 32	3
地域	道南	△ 48	7	34	59	△ 52	△ 4	0	41	59	△ 59	△ 7
	道央	△ 49	9	40	51	△ 42	7	6	42	52	△ 46	△ 4
	札幌市を除く	△ 44	8	40	52	△ 44	0	3	43	54	△ 51	△ 7
	札幌市	△ 54	11	39	50	△ 39	15	10	41	49	△ 39	0
	道北	△ 48	15	30	55	△ 40	8	4	40	56	△ 52	△ 12
	オホーツク	△ 55	7	45	48	△ 41	14	3	40	57	△ 54	△ 13
	十勝	△ 51	10	39	51	△ 41	10	8	46	46	△ 38	3
	釧路・根室	△ 58	10	35	55	△ 45	13	7	40	53	△ 46	△ 1

（４）　資金繰り

今期の資金繰りＢＳＩは △ 22 （前期から横ばい）

・業種別にみると、卸売・小売業、運輸業でマイナス幅が縮小、建設業、製造業、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道央、オホーツクでマイナス幅が縮小、道南、道北、十勝、釧路・根室でマイナス幅が拡大

来期の資金繰りＢＳＩは △ 26（今期から４ポイント下降）

図1-(4)　資金繰り

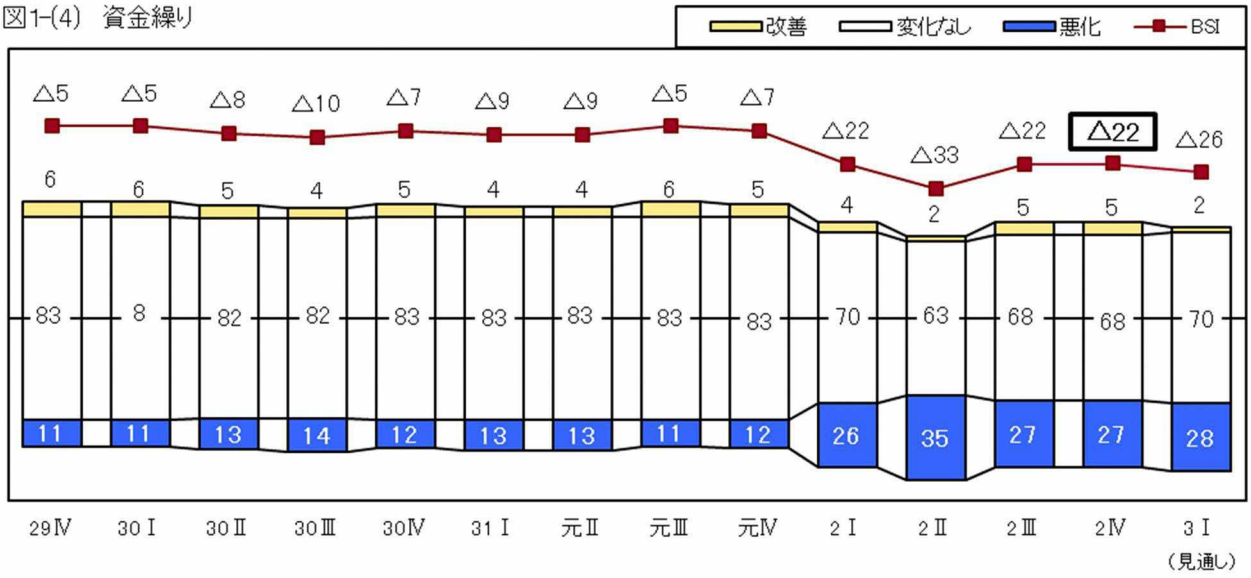


表1-(4)　資金繰り（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績 改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 改善	変化なし	悪化	BSI	変化幅
総　計		△ 22	5	68	27	△ 22	0	2	70	28	△ 26	△ 4
	札幌市を除く	△ 23	5	68	27	△ 22	1	2	70	28	△ 26	△ 4
	札幌市	△ 20	6	66	28	△ 22	△ 2	3	68	29	△ 26	△ 4
業種	建設業	△ 4	4	87	9	△ 5	△ 1	2	88	10	△ 8	△ 3
	製造業	△ 15	2	77	21	△ 19	△ 4	1	75	24	△ 23	△ 4
	卸売･小売業	△ 19	9	65	26	△ 17	2	3	71	26	△ 23	△ 6
	運輸業	△ 33	6	60	34	△ 28	5	5	62	33	△ 28	0
	サービス業	△ 31	4	59	37	△ 33	△ 2	1	59	40	△ 39	△ 6
資本金	5千万円未満	△ 26	6	64	30	△ 24	2	3	64	33	△ 30	△ 6
	5千万以上～1億円未満	△ 14	4	73	23	△ 19	△ 5	2	76	22	△ 20	△ 1
	1億円以上	△ 13	1	80	19	△ 18	△ 5	0	83	17	△ 17	1
地域	道南	△ 25	3	64	33	△ 30	△ 5	0	62	38	△ 38	△ 8
	道央	△ 22	7	65	28	△ 21	1	3	67	30	△ 27	△ 6
	札幌市を除く	△ 23	8	63	29	△ 21	2	3	65	32	△ 29	△ 8
	札幌市	△ 20	6	66	28	△ 22	△ 2	3	68	29	△ 26	△ 4
	道北	△ 20	1	74	25	△ 24	△ 4	0	78	22	△ 22	2
	オホーツク	△ 28	5	74	21	△ 16	12	0	72	28	△ 28	△ 12
	十勝	△ 15	7	68	25	△ 18	△ 3	5	75	20	△ 15	3
	釧路･根室	△ 20	3	70	27	△ 24	△ 4	2	71	27	△ 25	△ 1

２　雇用状況

（１）　雇用者総数

今期の雇用者総数ＢＳＩは △ 12（前期から３ポイント下降）

・業種別にみると、運輸業で横ばい、建設業でプラス幅が縮小、製造業、卸売・小売業、サービス業でマイナス幅が拡大、
・地域別にみると、道北、釧路・根室でマイナス幅が縮小、道南、道央、オホーツク、十勝でマイナス幅が拡大

来期の雇用者総数ＢＳＩは △8　（今期から４ポイント上昇）

図２－(1)　雇用者総数

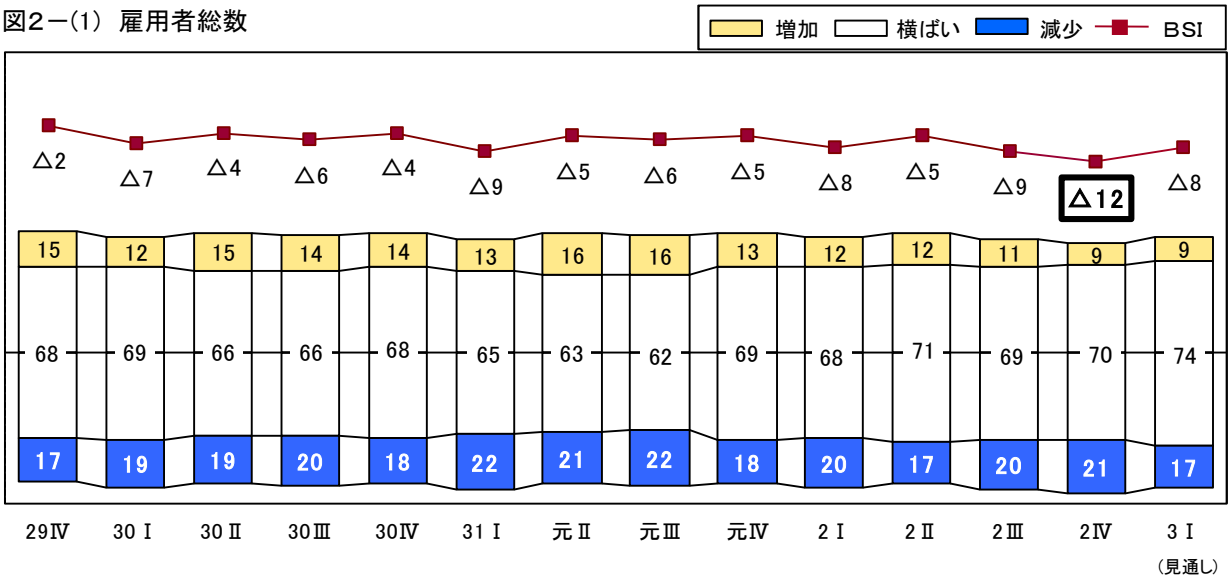


表2-(1)　雇用者総数（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績					R3年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 9	9	70	21	△ 12	△ 3	9	74	17	△ 8	4
	札幌市を除く	△ 11	9	70	21	△ 12	△ 1	8	75	17	△ 9	3
	札幌市	△ 1	8	72	20	△ 12	△ 11	11	74	15	△ 4	8
業種	建設業	13	18	73	9	9	△ 4	20	70	10	10	1
	製造業	△ 11	12	64	24	△ 12	△ 1	6	77	17	△ 11	1
	卸売･小売業	△ 8	3	81	16	△ 13	△ 5	5	85	10	△ 5	8
	運輸業	△ 23	7	63	30	△ 23	0	8	69	23	△ 15	8
	サービス業	△ 13	7	69	24	△ 17	△ 4	7	72	21	△ 14	3
資本金	5千万円未満	△ 14	7	70	23	△ 16	△ 2	7	75	18	△ 11	5
	5千万以上～1億円未満	△ 4	9	68	23	△ 14	△ 10	6	75	19	△ 13	1
	１億円以上	9	15	77	8	7	△ 2	19	73	8	11	4
地域	道南	△ 9	8	71	21	△ 13	△ 4	6	81	13	△ 7	6
	道央	0	9	73	18	△ 9	△ 9	9	77	14	△ 5	4
	札幌市を除く	△ 1	10	74	16	△ 6	△ 5	6	81	13	△ 7	△ 1
	札幌市	△ 1	8	72	20	△ 12	△ 11	11	74	15	△ 4	8
	道北	△ 25	6	70	24	△ 18	7	5	72	23	△ 18	0
	オホーツク	△ 10	5	67	28	△ 23	△ 13	7	69	24	△ 17	6
	十勝	△ 9	11	66	23	△ 12	△ 3	17	61	22	△ 5	7
	釧路･根室	△ 20	12	65	23	△ 11	9	10	77	13	△ 3	8

（２）　雇用者の不足感　（「不足」－「過剰」）

今期の雇用者の不足感ＢＳＩは 30（前期から２ポイント下降）

・業種別にみると、製造業でプラス幅が拡大、卸売・小売業で横ばい、建設業、運輸業、サービス業でプラス幅が縮小
・地域別にみると、道南、オホーツク、十勝でプラス幅が拡大、道央で横ばい、道北、釧路・根室でプラス幅が縮小

来期の雇用者の不足感ＢＳＩは 29（今期から１ポイント下降）

図２－(2) 雇用者の不足感

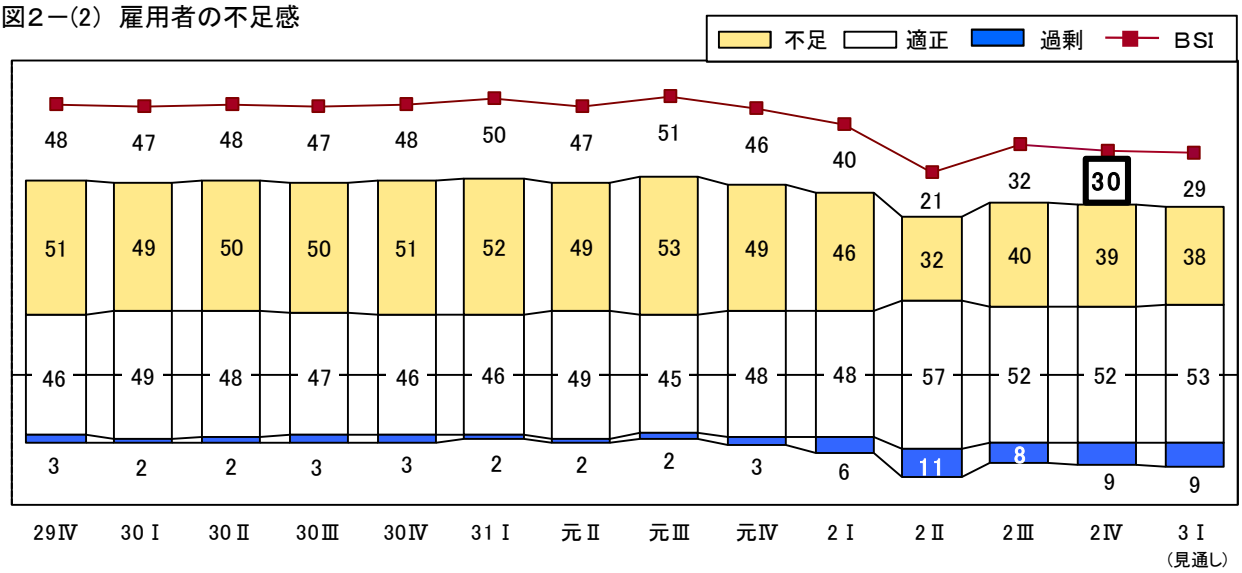


表2-(2) 雇用者の不足感（業種・資本金・地域別）

区分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績					R3年1-3月見通し				
			不足	適正	過剰	BSI	変化幅	不足	適正	過剰	BSI	変化幅
総計		32	39	52	9	30	△ 2	38	53	9	29	△ 1
	札幌市を除く	35	40	53	7	33	△ 2	39	53	8	31	△ 2
	札幌市	21	35	52	13	22	1	34	53	13	21	△ 1
業種	建設業	60	58	41	1	57	△ 3	57	40	3	54	△ 3
	製造業	29	40	55	5	35	6	36	60	4	32	△ 3
	卸売･小売業	20	29	62	9	20	0	28	62	10	18	△ 2
	運輸業	46	47	47	6	41	△ 5	49	45	6	43	2
	サービス業	20	32	53	15	17	△ 3	31	53	16	15	△ 2
資本金	5千万円未満	31	39	52	9	30	△ 1	38	52	10	28	△ 2
	5千万以上～1億円未満	36	42	50	8	34	△ 2	41	51	8	33	△ 1
	1億円以上	29	36	57	7	29	0	35	57	8	27	△ 2
地域	道南	19	33	54	13	20	1	30	57	13	17	△ 3
	道央	22	32	58	10	22	0	33	57	10	23	1
	札幌市を除く	23	29	63	8	21	△ 2	32	60	8	24	3
	札幌市	21	35	52	13	22	1	34	53	13	21	△ 1
	道北	59	52	42	6	46	△ 13	51	41	8	43	△ 3
	オホーツク	36	47	46	7	40	4	38	53	9	29	△ 11
	十勝	39	59	34	7	52	13	59	34	7	52	0
	釧路･根室	40	32	65	3	29	△ 11	30	65	5	25	△ 4

（３）　残業時間

今期の残業時間ＢＳＩは △ 34（前期から１ポイント下降）

・業種別にみると、建設業、製造業でマイナス幅が縮小、卸売・小売業、運輸業、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、道北でマイナス幅が縮小、道南、釧路・根室で横ばい、道央、オホーツク、十勝でマイナス幅が拡大

来期の残業時間ＢＳＩは △ 30（今期から４ポイント上昇）

図2-(3) 残業時間

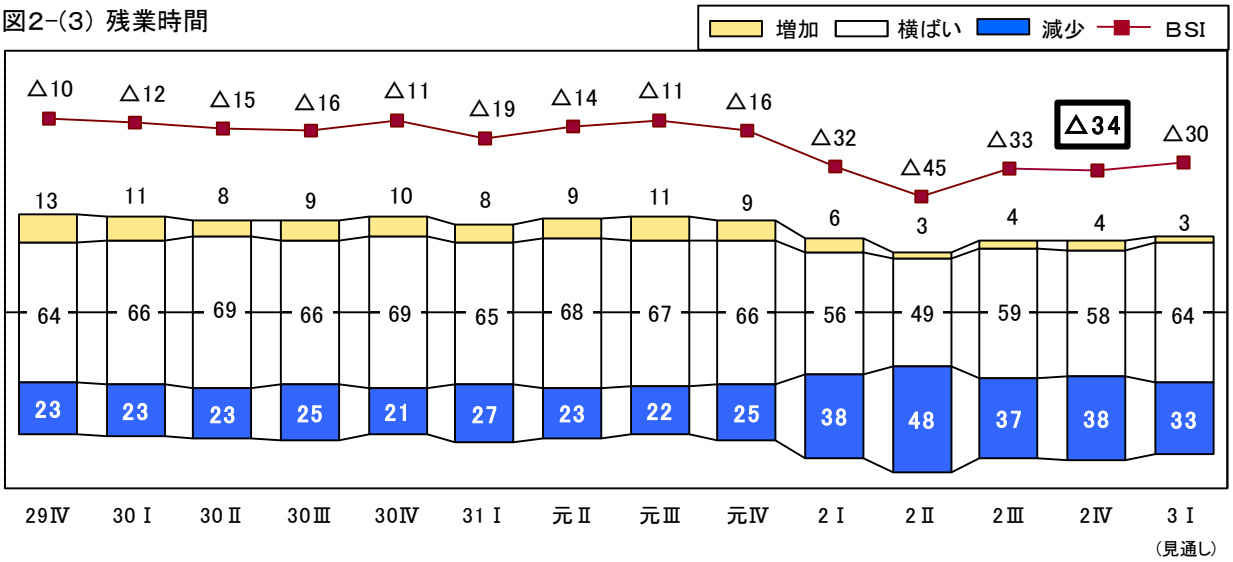


表2-(3) 残業時間（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績					R3年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		△ 33	4	58	38	△ 34	△ 1	3	64	33	△ 30	4
	札幌市を除く	△ 33	4	58	38	△ 34	△ 1	2	64	34	△ 32	2
	札幌市	△ 36	3	59	38	△ 35	1	6	64	30	△ 24	11
業種	建設業	△ 17	6	74	20	△ 14	3	5	74	21	△ 16	△ 2
	製造業	△ 37	8	55	37	△ 29	8	3	63	34	△ 31	△ 2
	卸売･小売業	△ 36	1	61	38	△ 37	△ 1	4	71	25	△ 21	16
	運輸業	△ 39	2	55	43	△ 41	△ 2	2	60	38	△ 36	5
	サービス業	△ 37	2	51	47	△ 45	△ 8	1	57	42	△ 41	4
資本金	5千万円未満	△ 32	3	58	39	△ 36	△ 4	2	64	34	△ 32	4
	5千万以上～1億円未満	△ 38	4	60	36	△ 32	6	3	63	34	△ 31	1
	1億円以上	△ 33	6	55	39	△ 33	0	6	66	28	△ 22	11
地域	道南	△ 39	3	55	42	△ 39	0	0	64	36	△ 36	3
	道央	△ 32	4	59	37	△ 33	△ 1	4	65	31	△ 27	6
	札幌市を除く	△ 27	4	60	36	△ 32	△ 5	2	65	33	△ 31	1
	札幌市	△ 36	3	59	38	△ 35	1	6	64	30	△ 24	11
	道北	△ 36	5	59	36	△ 31	5	5	62	33	△ 28	3
	オホーツク	△ 31	3	59	38	△ 35	△ 4	3	63	34	△ 31	4
	十勝	△ 34	3	54	43	△ 40	△ 6	2	66	32	△ 30	10
	釧路･根室	△ 34	3	60	37	△ 34	0	0	63	37	△ 37	△ 3

（4）　１人当たり賃金

今期の１人当たり賃金ＢＳＩは 5（前期から横ばい）

・業種別にみると、建設業、製造業でプラス幅が拡大、卸売・小売業でプラス幅が縮小、運輸業、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別に見ると、道央、道北でプラス幅が拡大、釧路・根室でプラスに転換、オホーツクで横ばい、十勝でプラス幅が縮小、道南でマイナスに転換

来期の１人当たり賃金ＢＳＩは 0（今期から５ポイント下降）

図2-(4) 1人当たり賃金

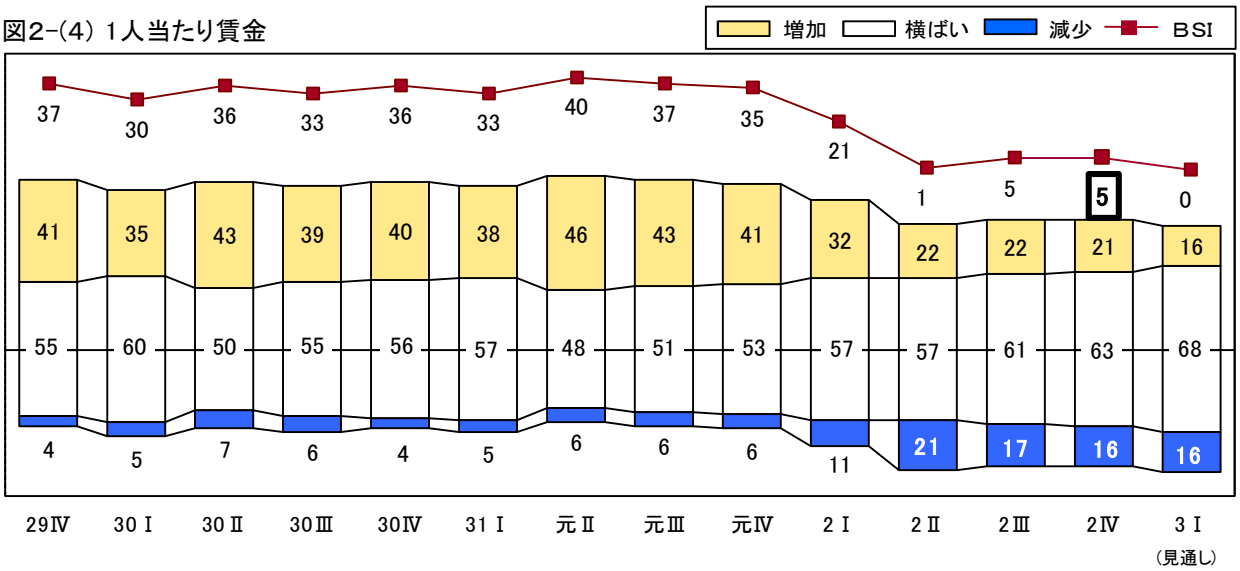


表2-(4)　1人当たり賃金（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績					R3年1-3月見通し				
			増加	横ばい	減少	BSI	変化幅	増加	横ばい	減少	BSI	変化幅
総　計		5	21	63	16	5	0	16	68	16	0	△ 5
	札幌市を除く	5	20	64	16	4	△ 1	16	68	16	0	△ 4
	札幌市	3	24	60	16	8	5	17	67	16	1	△ 7
業種	建設業	34	44	52	4	40	6	35	60	5	30	△ 10
	製造業	4	20	70	10	10	6	18	66	16	2	△ 8
	卸売･小売業	13	18	74	8	10	△ 3	10	84	6	4	△ 6
	運輸業	△ 10	17	52	31	△ 14	△ 4	12	60	28	△ 16	△ 2
	サービス業	△ 8	12	64	24	△ 12	△ 4	10	66	24	△ 14	△ 2
資本金	5千万円未満	1	18	65	17	1	0	13	69	18	△ 5	△ 6
	5千万以上～1億円未満	11	28	57	15	13	2	23	59	18	5	△ 8
	１億円以上	11	24	63	13	11	0	22	72	6	16	5
地域	道南	7	19	60	21	△ 2	△ 9	16	67	17	△ 1	1
	道央	3	20	64	16	4	1	15	68	17	△ 2	△ 6
	札幌市を除く	2	16	68	16	0	△ 2	12	70	18	△ 6	△ 6
	札幌市	3	24	60	16	8	5	17	67	16	1	△ 7
	道北	4	21	64	15	6	2	15	71	14	1	△ 5
	オホーツク	14	28	58	14	14	0	19	62	19	0	△ 14
	十勝	9	21	64	15	6	△ 3	19	66	15	4	△ 2
	釧路･根室	△ 2	18	65	17	1	3	17	68	15	2	1

３　在庫、価格水準

（１）　製造業

今期の実績

・製品在庫水準は、前期と比べ、「適正」が拡大、「不足」が横ばい、「過大」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
・製品価格は、前期と比べ、「上昇」「下降」が拡大、「横ばい」が縮小

来期の見通し

・製品在庫水準は、「過大」が拡大、「不足」が横ばい、「適正」が縮小、
・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が横ばい、「下降」が縮小
・製品価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」が横ばい、「下降」が縮小

図３－(1) 製品在庫水準

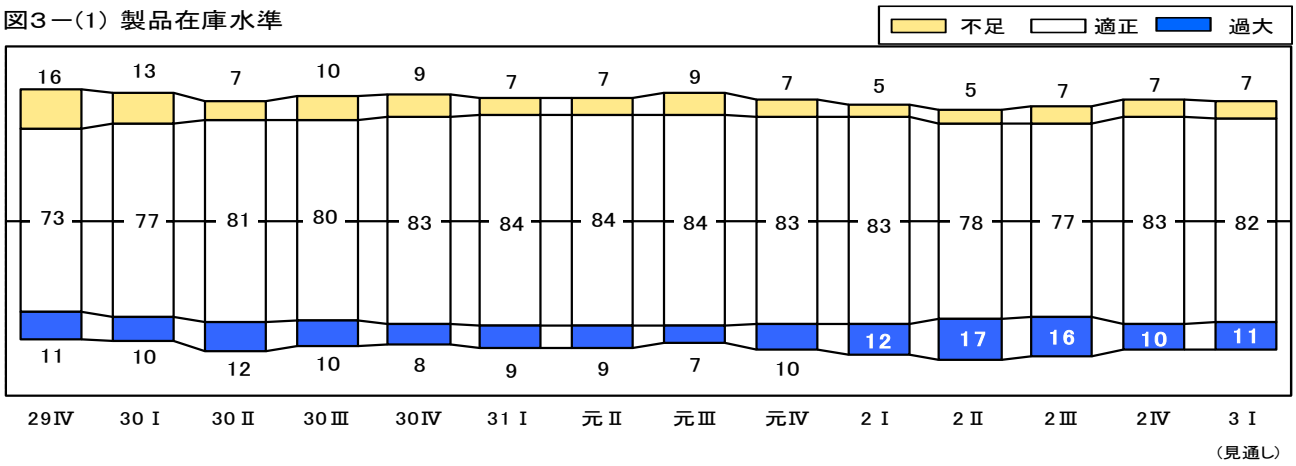


図３－(2) 仕入価格（原材料）

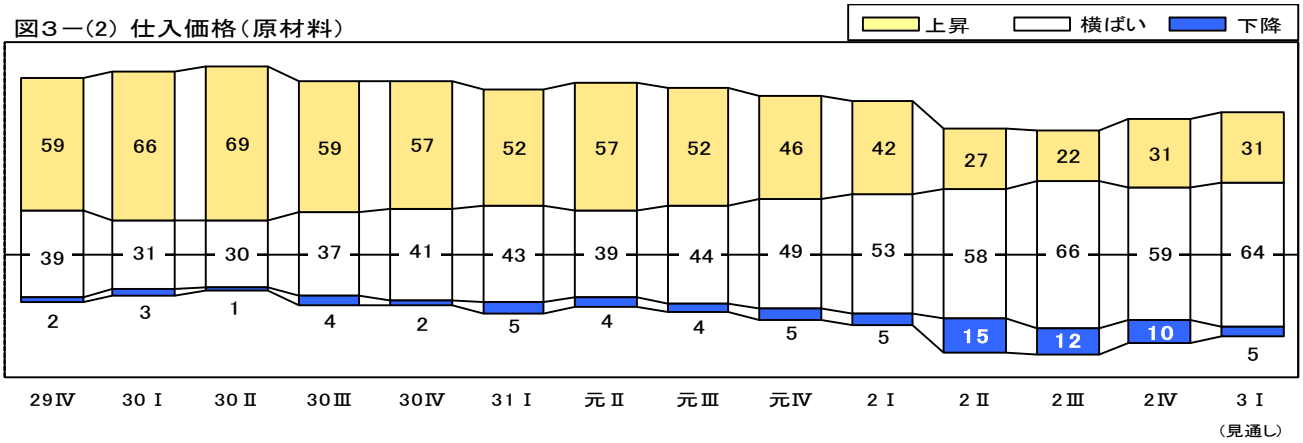
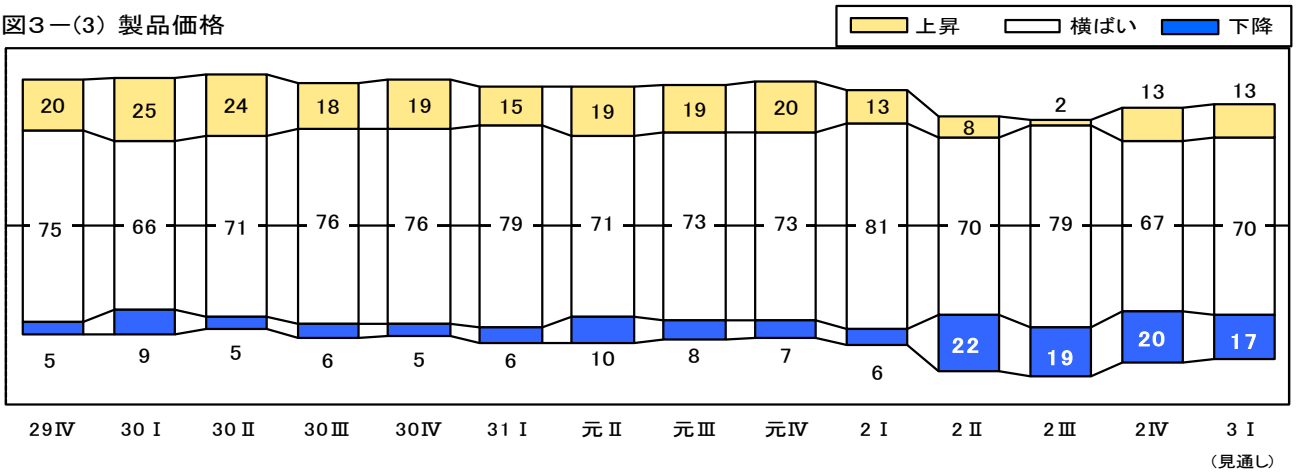


図３－(3) 製品価格



（２）　卸売・小売業

今期の実績

・商品在庫水準は、前期と比べ、「適正」「過大」が拡大、「不足」が縮小
・仕入価格は、前期と比べ、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小
・商品価格は、前期と比べ、「横ばい」「下降」が拡大、「上昇」が縮小

来期の見通し

・商品在庫水準は、「横ばい」が拡大、「不足」「過大」が縮小
・仕入価格は、「横ばい」が拡大、「上昇」「下降」が縮小
・商品価格は、「上昇」が拡大、「横ばい」「下降」が縮小

図３－(4) 商品在庫水準

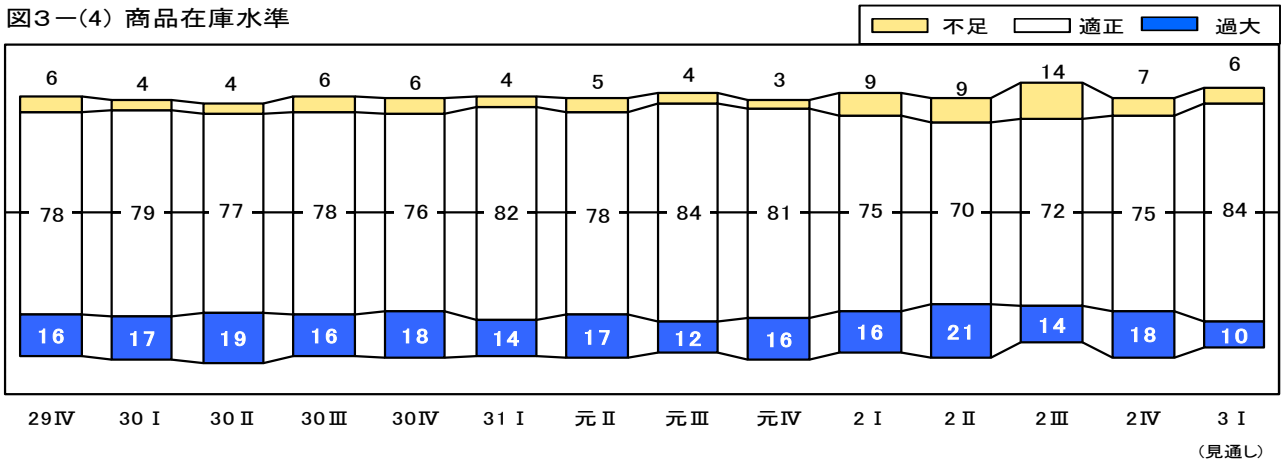


図３－(5) 仕入価格（商品）

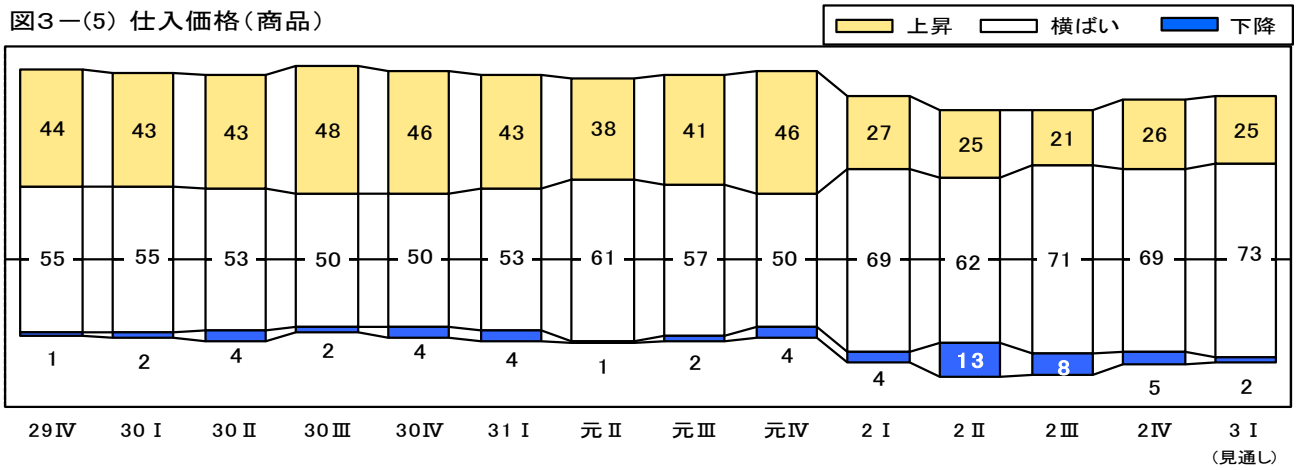
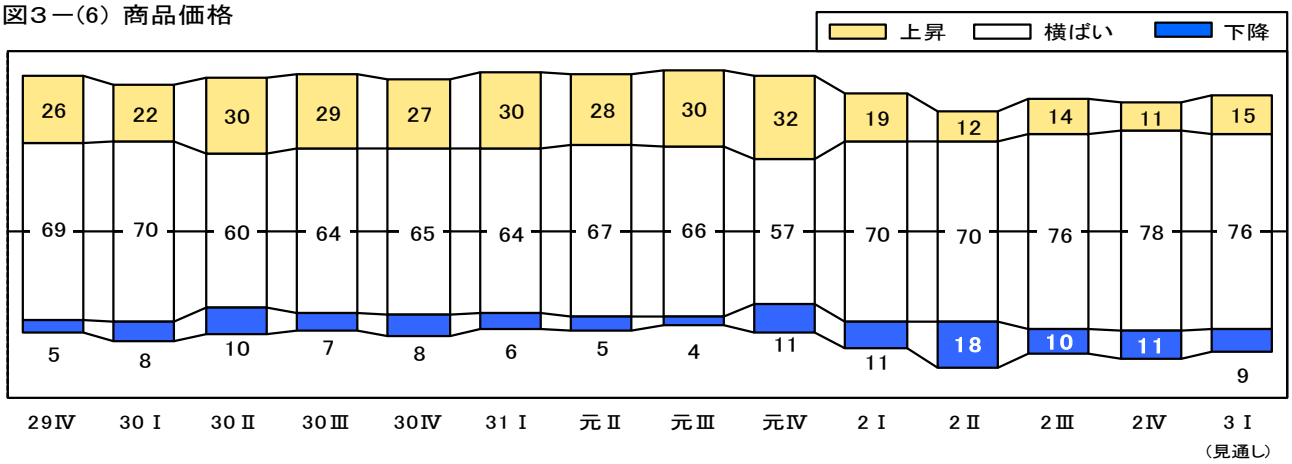


図３－(6) 商品価格



4　設備投資の状況

今期の実績

・「設備投資をした」と回答した企業は33%で、前期から上昇

・設備投資の目的については、「設備更新」が72%、「生産・販売能力拡大」が28%、「合理化・省力化」が20%（複数回答）

来期の見通し

・「設備投資をする」と回答した企業は29%で、今期から下降

・設備投資の目的については、「設備更新」が74%、「合理化・省力化」が24%、「生産・販売能力拡大」が22%、（複数回答）

図4－(1) 設備投資の状況

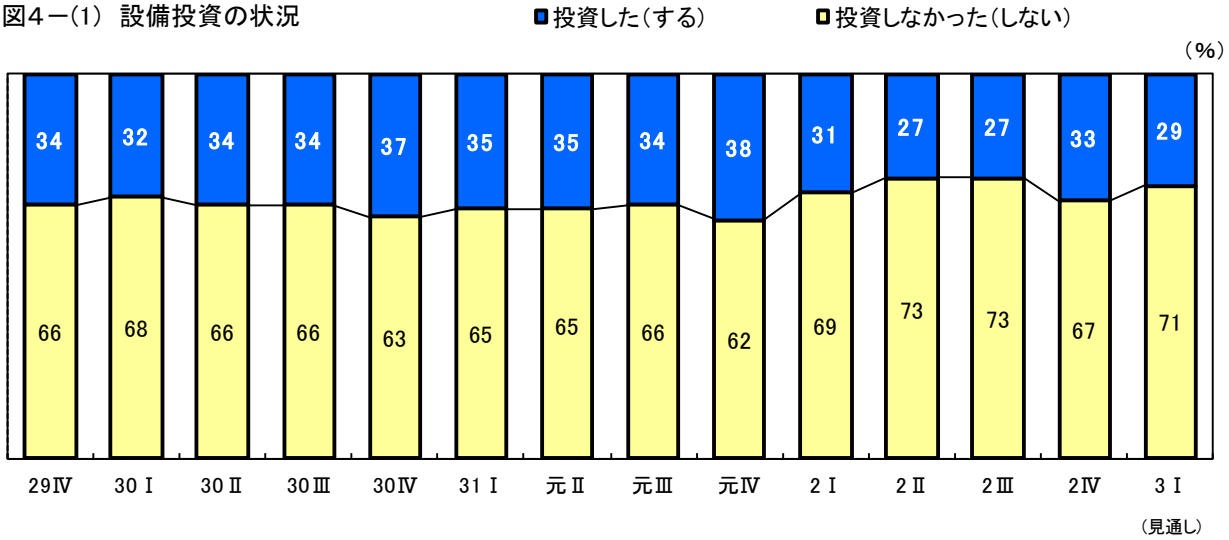


図4－(2) 設備投資の目的(複数回答)

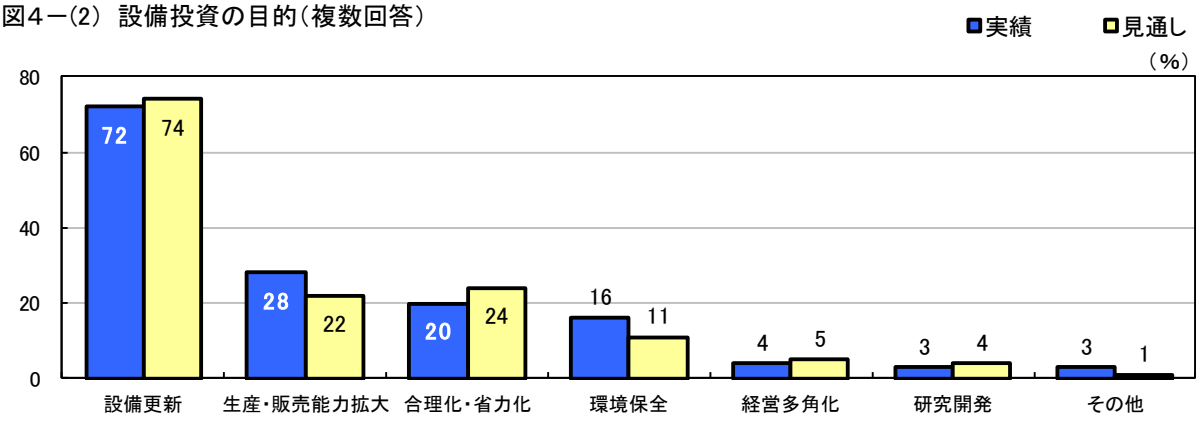


表４－(1) 設備投資の状況（R2年10-12実績）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R2年 7-9月 設備投資した	R2年 10-12月 設備投資した	設備投資の目的（複数回答） 設備更新	生産・販売能力拡大	合理化省力化	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		27	33	72	28	20	16	4	3	3
	札幌市を除く	23	32	70	28	18	20	4	3	3
	札幌市	42	36	80	27	30	2	5	2	2
業種	建設業	22	31	73	27	17	3	0	0	0
	製造業	32	46	67	37	26	15	9	7	2
	卸売･小売業	26	29	68	21	18	32	0	0	6
	運輸業	32	44	84	13	11	13	0	0	0
	サービス業	26	23	68	36	27	14	9	5	5
資本金	5千万円未満	21	26	63	32	21	20	7	3	3
	5千万以上～1億円未満	27	32	83	19	11	8	3	0	0
	1億円以上	54	62	81	25	25	11	0	4	4
地域	道南	17	29	71	19	14	24	5	0	0
	道央	34	34	75	30	26	14	3	2	2
	札幌市を除く	26	33	70	32	23	25	2	2	2
	札幌市	42	36	80	27	30	2	5	2	2
	道北	24	31	68	20	12	0	8	0	4
	オホーツク	25	34	65	40	15	15	0	0	5
	十勝	26	36	68	36	27	23	5	14	0
	釧路・根室	20	27	75	13	6	31	6	0	6

表４－(2) 設備投資の状況（R3年1-3月見通し）（業種・資本金・地域別）

（%）

区分		R3年1-3月 設備投資する	設備投資の目的（複数回答） 設備更新	合理化省力化	生産・販売能力拡大	環境保全	経営多角化	研究開発	その他
総計		29	74	24	22	11	5	4	1
	札幌市を除く	26	77	20	24	11	7	3	2
	札幌市	39	66	34	19	9	2	4	0
業種	建設業	30	72	31	21	3	0	3	0
	製造業	37	70	24	35	11	5	8	3
	卸売･小売業	22	81	19	23	19	8	0	0
	運輸業	36	93	17	0	7	0	0	0
	サービス業	27	63	25	27	13	10	4	2
資本金	5千万円未満	23	69	20	26	15	9	3	1
	5千万以上～1億円未満	30	79	24	12	3	3	6	0
	1億円以上	56	81	29	23	8	0	2	2
地域	道南	20	93	7	21	0	7	7	0
	道央	34	71	29	25	10	1	3	0
	札幌市を除く	30	78	23	33	13	0	3	0
	札幌市	39	66	34	19	9	2	4	0
	道北	27	71	24	14	0	0	0	5
	オホーツク	23	77	23	38	8	15	0	0
	十勝	30	78	33	22	22	22	11	0
	釧路・根室	29	71	0	6	24	6	0	6

５　地域別にみる各産業の動向

（１）　道南

今期の業況感ＢＳＩは △ 42 （前期から２ポイント下降）

主な上昇業種･･･食料品製造業（▲75→25）、各種商品卸売業（▲74→▲62）、
飲食料品卸売業（▲100→▲67）、機械器具小売業（▲67→▲33）、
飲食店（▲100→▲34）

主な下降業種･･･総合工事業（25→0）、木材・木製品製造業（0→▲50）、通信業（0→▲100）
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲75→▲100）、技術サービス業（0→▲50）、
宿泊業（▲66→▲78）

来期の業況感ＢＳＩは △ 50 （今期から８ポイント下降）

図５－（１） 地域別BSIの推移【道南】

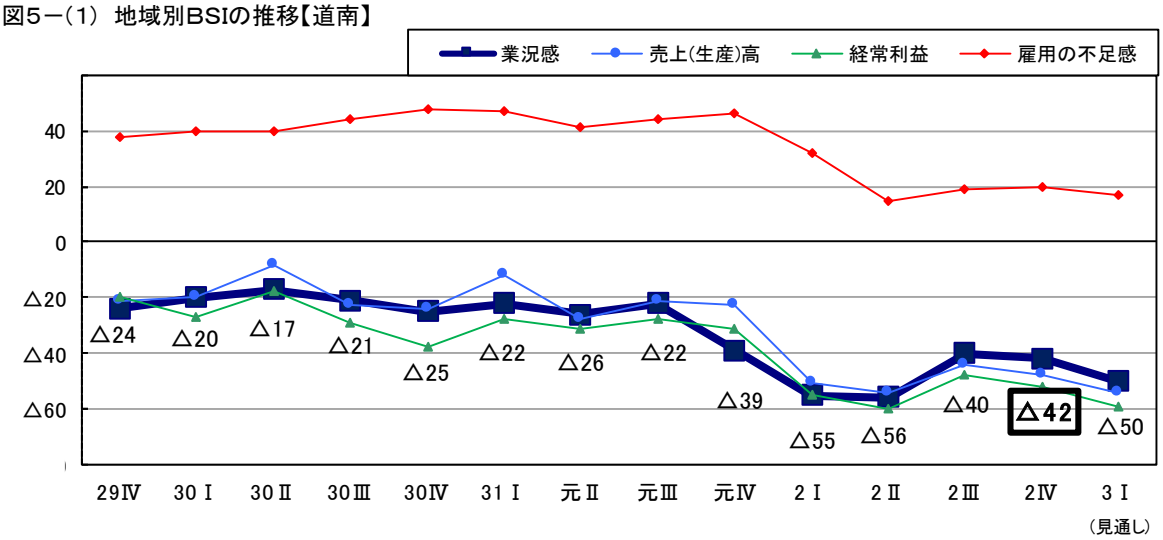


表５－（１） 地域別BSI【道南】

区　分		R2年7-9月実績BSI	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 40	7	44	49	△ 42	△ 2	0	50	50	△ 50	△ 8
	建設業	25	8	84	8	0	△ 25	0	83	17	△ 17	△ 17
	製造業	△ 27	15	54	31	△ 16	11	0	62	38	△ 38	△ 22
	卸売･小売業	△ 74	0	38	62	△ 62	12	0	23	77	△ 77	△ 15
	運輸業	△ 50	0	44	56	△ 56	△ 6	0	78	22	△ 22	34
	サービス業	△ 45	8	24	68	△ 60	△ 15	0	30	70	△ 70	△ 10
売上（生産）高	全産業	△ 44	7	38	55	△ 48	△ 4	1	44	55	△ 54	△ 6
	建設業	25	8	75	17	△ 9	△ 34	0	75	25	△ 25	△ 16
	製造業	△ 37	15	39	46	△ 31	6	8	54	38	△ 30	1
	卸売･小売業	△ 74	8	23	69	△ 61	13	0	31	69	△ 69	△ 8
	運輸業	△ 50	0	44	56	△ 56	△ 6	0	67	33	△ 33	23
	サービス業	△ 59	4	27	69	△ 65	△ 6	0	21	79	△ 79	△ 14
経常利益	全産業	△ 48	7	34	59	△ 52	△ 4	0	41	59	△ 59	△ 7
	建設業	0	8	59	33	△ 25	△ 25	0	50	50	△ 50	△ 25
	製造業	△ 46	15	39	46	△ 31	15	0	54	46	△ 46	△ 15
	卸売･小売業	△ 63	8	15	77	△ 69	△ 6	0	38	62	△ 62	7
	運輸業	△ 50	0	44	56	△ 56	△ 6	0	67	33	△ 33	23
	サービス業	△ 59	4	27	69	△ 65	△ 6	0	21	79	△ 79	△ 14
雇用者の不足感	全産業	19	33	54	13	20	1	30	57	13	17	△ 3
	建設業	67	58	42	0	58	△ 9	50	50	0	50	△ 8
	製造業	18	54	38	8	46	28	38	54	8	30	△ 16
	卸売･小売業	16	31	61	8	23	7	31	61	8	23	0
	運輸業	9	33	45	22	11	2	33	45	22	11	0
	サービス業	0	12	68	20	△ 8	△ 8	13	65	22	△ 9	△ 1

※「売上（生産）高」及び「経常利益」については、「上昇」を「増加」、「下降」を「減少」と、
「雇用者の不足感」については、「上昇」を「不足」、「横ばい」を「適正」、「下降」を「過剰」と読み替え。（以下、同じ。）

（２）　道央

今期の業況感ＢＳＩは △ 44（前期から３ポイント上昇）

主な上昇業種･･･木材・木製品製造業（▲100→0）、家具・装備品製造業（▲100→0）、
生産用機械器具製造業（▲80→▲25）、
電子部品・デバイス・電子回路製造業（▲100→▲50）、
電気機械器具製造業（0→50）、機械器具小売業（▲67→0）、
その他の小売業（▲71→▲25）、娯楽業（▲100→▲50）

主な下降業種･･･塗装工事業等の職別工事業（▲50→▲100）、
パルプ・紙・紙加工品製造業（▲33→▲100）、
プラスチック製品製造業（▲50→▲100）汎用機械器具製造業（0→▲50）、
輸送用機械器具製造業（50→0）、航空運輸業（0→▲100）
放送業（0→▲50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 46　（今期から２ポイント下降）

図５－(2)　地域別BSIの推移【道央】

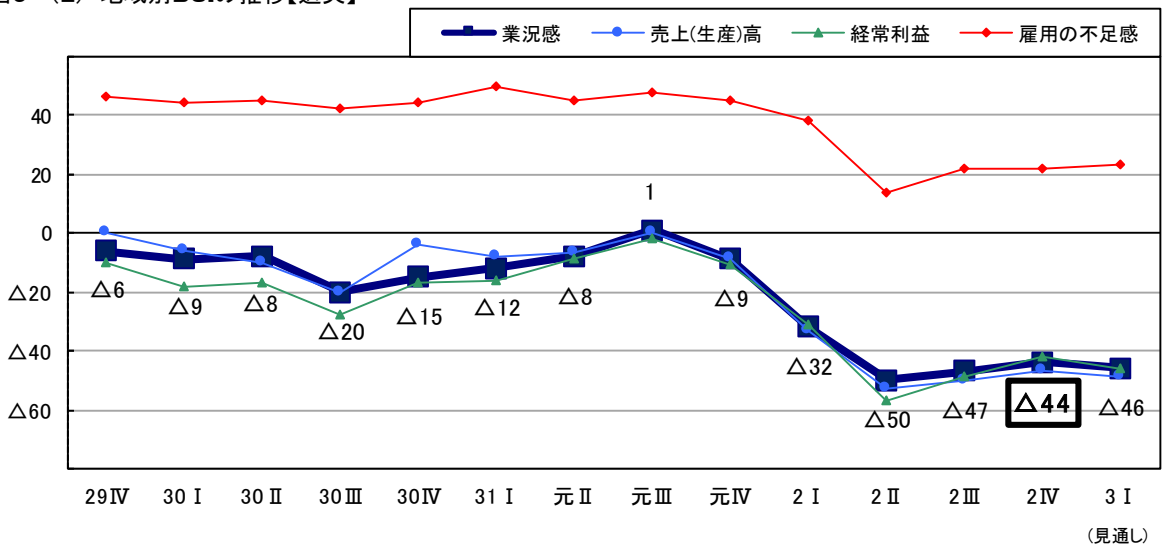


表５－(2)　地域別BSI【道央】

区　分		R2年7-9月実績BSI	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 47	6	44	50	△ 44	3	5	44	51	△ 46	△ 2
	建設業	△ 26	5	63	32	△ 27	△ 1	14	51	35	△ 21	6
	製造業	△ 40	5	57	38	△ 33	7	3	48	49	△ 46	△ 13
	卸売･小売業	△ 54	9	39	52	△ 43	11	3	52	45	△ 42	1
	運輸業	△ 52	7	40	53	△ 46	6	0	33	67	△ 67	△ 21
	サービス業	△ 53	3	37	60	△ 57	△ 4	4	40	56	△ 52	5
売上（生産）高	全産業	△ 50	7	39	54	△ 47	3	6	39	55	△ 49	△ 2
	建設業	△ 26	8	51	41	△ 33	△ 7	11	46	43	△ 32	1
	製造業	△ 43	8	47	45	△ 37	6	3	42	55	△ 52	△ 15
	卸売･小売業	△ 64	12	34	54	△ 42	22	5	45	50	△ 45	△ 3
	運輸業	△ 49	6	36	58	△ 52	△ 3	6	23	71	△ 65	△ 13
	サービス業	△ 54	4	35	61	△ 57	△ 3	6	37	57	△ 51	6
経常利益	全産業	△ 49	9	40	51	△ 42	7	6	42	52	△ 46	△ 4
	建設業	△ 32	8	51	41	△ 33	△ 1	11	48	41	△ 30	3
	製造業	△ 40	8	54	38	△ 30	10	0	56	44	△ 44	△ 14
	卸売･小売業	△ 54	16	38	46	△ 30	24	5	42	53	△ 48	△ 18
	運輸業	△ 49	6	33	61	△ 55	△ 6	6	29	65	△ 59	△ 4
	サービス業	△ 55	8	32	60	△ 52	3	8	38	54	△ 46	6
雇用者の不足感	全産業	22	32	58	10	22	0	33	57	10	23	1
	建設業	59	53	44	3	50	△ 9	56	38	6	50	0
	製造業	15	26	71	3	23	8	24	73	3	21	△ 2
	卸売･小売業	15	23	66	11	12	△ 3	23	66	11	12	0
	運輸業	39	42	55	3	39	0	48	49	3	45	6
	サービス業	11	29	52	19	10	△ 1	29	53	18	11	1

（２）－①　道央（札幌市を除く）

今期の業況感ＢＳＩは △ 45（前期から横ばい）

主な上昇業種･･･設備工事業（▲100→▲50）、木材・木製品製造業（▲100→0）
電子部品・デバイス・電子回路製造業（▲100→▲50）
機械器具卸売業（0→100）、その他の小売業（▲60→▲16）
娯楽業（▲100→▲50）

主な下降業種･･･職別工事業（▲50→▲100）、汎用機械器具製造業（0→▲100）
輸送用機械器具製造業（50→0）、職業紹介・労働者派遣業（0→▲50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 48　（今期から３ポイント下降）

図５－(2)－①　地域別BSIの推移【道央（札幌市を除く）】

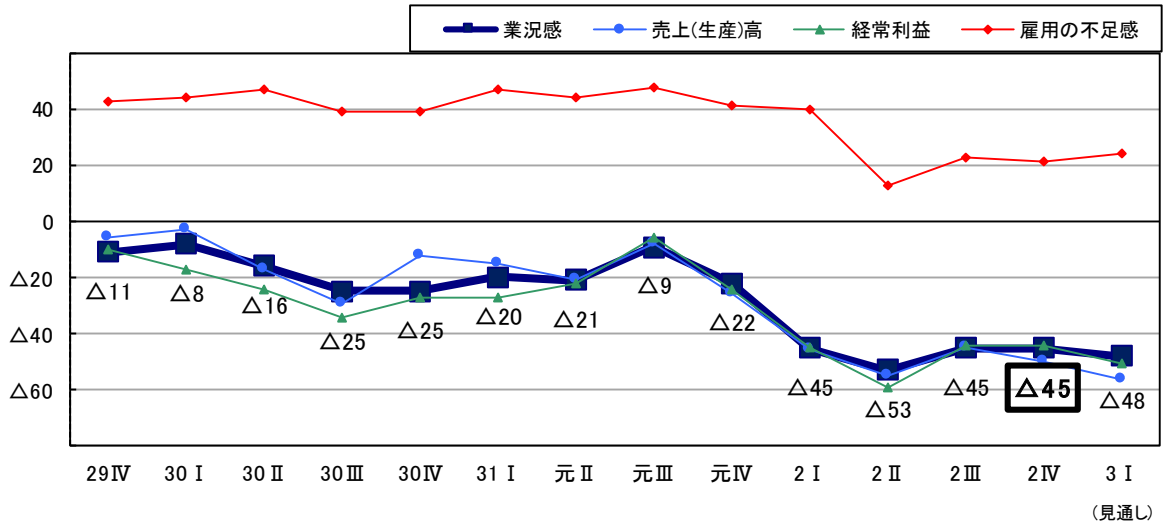


表５－(2)－①　地域別BSI【道央（札幌市を除く）】

区　分		R2年7-9月実績BSI	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 45	5	45	50	△ 45	0	3	46	51	△ 48	△ 3
	建設業	△ 38	0	63	37	△ 37	1	11	52	37	△ 26	11
	製造業	△ 28	4	61	35	△ 31	△ 3	0	58	42	△ 42	△ 11
	卸売･小売業	△ 66	10	23	67	△ 57	9	0	47	53	△ 53	4
	運輸業	△ 35	0	65	35	△ 35	0	0	47	53	△ 53	△ 18
	サービス業	△ 53	5	35	60	△ 55	△ 2	5	34	61	△ 56	△ 1
売上（生産）高	全産業	△ 45	6	38	56	△ 50	△ 5	3	38	59	△ 56	△ 6
	建設業	△ 25	5	48	47	△ 42	△ 17	5	48	47	△ 42	0
	製造業	△ 36	4	52	44	△ 40	△ 4	4	44	52	△ 48	△ 8
	卸売･小売業	△ 71	14	17	69	△ 55	16	0	33	67	△ 67	△ 12
	運輸業	△ 29	0	56	44	△ 44	△ 15	0	33	67	△ 67	△ 23
	サービス業	△ 52	5	32	63	△ 58	△ 6	5	35	60	△ 55	3
経常利益	全産業	△ 44	8	40	52	△ 44	0	3	43	54	△ 51	△ 7
	建設業	△ 32	5	48	47	△ 42	△ 10	5	48	47	△ 42	0
	製造業	△ 32	8	57	35	△ 27	5	0	62	38	△ 38	△ 11
	卸売･小売業	△ 63	17	24	59	△ 42	21	3	37	60	△ 57	△ 15
	運輸業	△ 29	0	44	56	△ 56	△ 27	0	39	61	△ 61	△ 5
	サービス業	△ 52	5	36	59	△ 54	△ 2	5	35	60	△ 55	△ 1
雇用者の不足感	全産業	23	29	63	8	21	△ 2	32	60	8	24	3
	建設業	63	44	50	6	38	△ 25	50	44	6	44	6
	製造業	14	24	76	0	24	10	20	80	0	20	△ 4
	卸売･小売業	12	17	73	10	7	△ 5	21	69	10	11	4
	運輸業	35	28	72	0	28	△ 7	39	61	0	39	11
	サービス業	16	35	50	15	20	4	36	49	15	21	1

（２）－ ②　道央（札幌市）

今期の業況感ＢＳＩは　△43　（前期から６ポイント上昇）

主な上昇業種･･･家具・装備品製造業（▲100→0）、生産用機械器具製造業（▲100→0）
電気機械器具製造業（0→50）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（▲75→▲40）
機械器具小売業（▲60→0）、その他の小売業（▲100→▲50）
廃棄物処理業（▲50→0）

主な下降業種･･･食料品製造業（▲60→▲100）、パルプ・紙・紙加工品製造業（▲50→▲100）
繊維・衣類等卸売業（▲67→▲100）、航空運輸業（0→▲100）
物品賃貸業（▲25→▲67）

来期の業況感ＢＳＩは △ 43（今期から横ばい）

図５－(2)－②　地域別BSIの推移【道央（札幌市）】

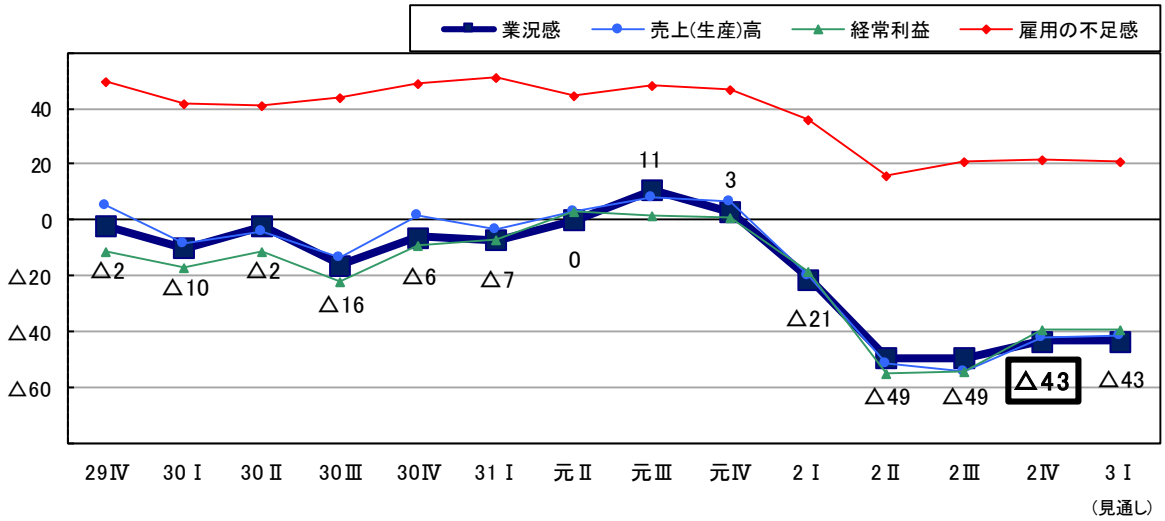


表５－(2)－②　地域別BSI【道央（札幌市）】

区　分		R2年7-9月実績BSI	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 49	7	43	50	△ 43	6	7	43	50	△ 43	0
	建設業	△ 17	11	61	28	△ 17	0	17	50	33	△ 16	1
	製造業	△ 59	8	46	46	△ 38	21	8	30	62	△ 54	△ 16
	卸売･小売業	△ 45	7	57	36	△ 29	16	7	57	36	△ 29	0
	運輸業	△ 69	15	8	77	△ 62	7	0	15	85	△ 85	△ 23
	サービス業	△ 54	2	38	60	△ 58	△ 4	4	44	52	△ 48	10
売上（生産）高	全産業	△ 54	9	40	51	△ 42	12	9	41	50	△ 41	1
	建設業	△ 28	11	56	33	△ 22	6	17	44	39	△ 22	0
	製造業	△ 53	15	39	46	△ 31	22	0	38	62	△ 62	△ 31
	卸売･小売業	△ 59	11	50	39	△ 28	31	11	57	32	△ 21	7
	運輸業	△ 69	15	8	77	△ 62	7	15	8	77	△ 62	0
	サービス業	△ 58	4	37	59	△ 55	3	6	40	54	△ 48	7
経常利益	全産業	△ 54	11	39	50	△ 39	15	10	41	49	△ 39	0
	建設業	△ 33	11	56	33	△ 22	11	17	50	33	△ 16	6
	製造業	△ 53	8	46	46	△ 38	15	0	46	54	△ 54	△ 16
	卸売･小売業	△ 48	14	54	32	△ 18	30	7	47	46	△ 39	△ 21
	運輸業	△ 69	15	16	69	△ 54	15	15	16	69	△ 54	0
	サービス業	△ 59	10	29	61	△ 51	8	10	40	50	△ 40	11
雇用者の不足感	全産業	21	35	52	13	22	1	34	53	13	21	△ 1
	建設業	56	61	39	0	61	5	61	33	6	55	△ 6
	製造業	18	31	61	8	23	5	31	61	8	23	0
	卸売･小売業	17	29	60	11	18	1	25	64	11	14	△ 4
	運輸業	44	62	30	8	54	10	62	30	8	54	0
	サービス業	7	24	54	22	2	△ 5	24	56	20	4	2

（３）　道北

今期の業況感ＢＳＩは △ 40 （前期から５ポイント上昇）

主な上昇業種･･･木材・木製品製造業（▲100→▲50）、
飲食料品卸売業（▲50→0）、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（0→33）
飲食料品小売業（▲50→0）
娯楽業（▲100→0）

主な下降業種･･･窯業・土石製品製造業（0→▲34）、繊維・衣類等卸売業（0→▲100）
洗濯・理容・美容・浴場業（0→▲67）、

来期の業況感ＢＳＩは △ 46（今期から６ポイント下降）

図５－(3) 地域別BSIの推移【道北】

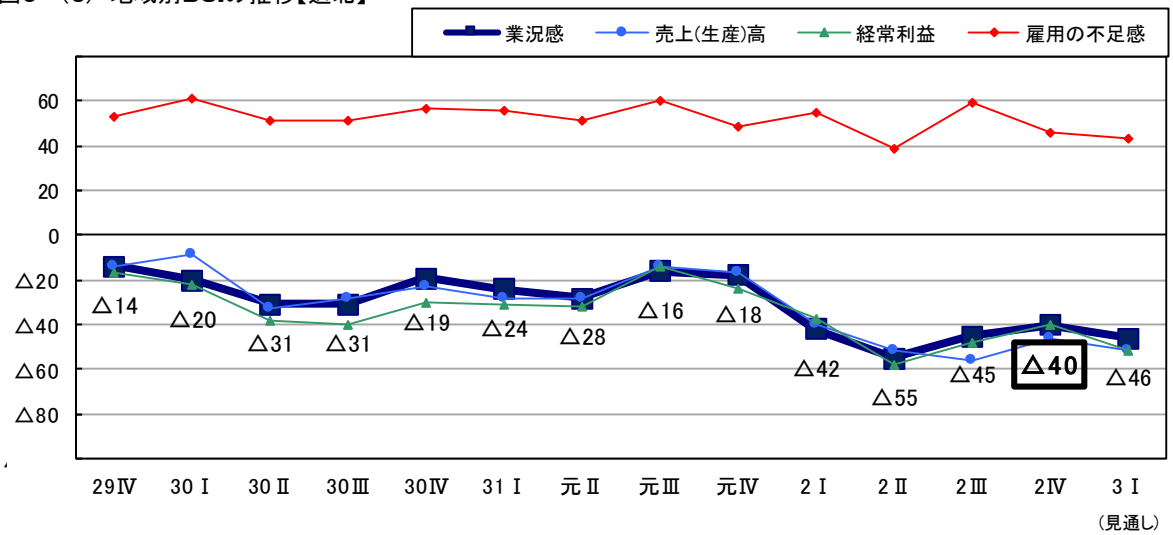


表５－(5) 地域別BSI(道北)

区　分		R2年7-9月実績BSI	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 45	6	48	46	△ 40	5	1	52	47	△ 46	△ 6
	建設業	△ 18	0	87	13	△ 13	5	0	67	33	△ 33	△ 20
	製造業	△ 50	8	30	62	△ 54	△ 4	0	69	31	△ 31	23
	卸売･小売業	△ 46	18	46	36	△ 18	28	0	73	27	△ 27	△ 9
	運輸業	△ 60	0	36	64	△ 64	△ 4	0	36	64	△ 64	0
	サービス業	△ 52	8	42	50	△ 42	10	4	33	63	△ 59	△ 17
売上（生産）高	全産業	△ 56	6	42	52	△ 46	10	1	46	53	△ 52	△ 6
	建設業	△ 29	13	67	20	△ 7	22	7	60	33	△ 26	△ 19
	製造業	△ 50	0	29	71	△ 71	△ 21	0	43	57	△ 57	14
	卸売･小売業	△ 54	17	33	50	△ 33	21	0	50	50	△ 50	△ 17
	運輸業	△ 69	0	29	71	△ 71	△ 2	0	43	57	△ 57	14
	サービス業	△ 70	4	46	50	△ 46	24	0	37	63	△ 63	△ 17
経常利益	全産業	△ 48	15	30	55	△ 40	8	4	40	56	△ 52	△ 12
	建設業	△ 29	27	46	27	0	29	13	47	40	△ 27	△ 27
	製造業	△ 63	7	14	79	△ 72	△ 9	0	36	64	△ 64	8
	卸売･小売業	△ 15	17	41	42	△ 25	△ 10	0	58	42	△ 42	△ 17
	運輸業	△ 69	14	22	64	△ 50	19	7	29	64	△ 57	△ 7
	サービス業	△ 54	12	28	60	△ 48	6	0	35	65	△ 65	△ 17
雇用者の不足感	全産業	59	52	42	6	46	△ 13	51	41	8	43	△ 3
	建設業	82	80	20	0	80	△ 2	80	20	0	80	0
	製造業	50	71	15	14	57	7	71	15	14	57	0
	卸売･小売業	33	25	75	0	25	△ 8	25	67	8	17	△ 8
	運輸業	63	36	57	7	29	△ 34	36	57	7	29	0
	サービス業	59	46	46	8	38	△ 21	42	50	8	34	△ 4

（４）　オホーツク

今期の業況感ＢＳＩは △ 38（前期から 15 ポイント上昇）

主な上昇業種･･･設備工事業（0→100）、その他の製造業（▲50→0）
機械器具卸売業（▲100→0）、自動車小売業等の機械器具小売業（▲80→0）
宿泊業（▲100→▲33）、じゅう器小売業等のその他の小売業（▲100→▲50）
自動車整備業（▲100→0）

主な下降業種･･･食料品製造業（0→▲80）、生産用機械器具製造業（▲50→▲100）、
輸送用機械器具製造業（100→0）、情報サービス業（▲50→▲100）
飲食店（▲100→100）、洗濯・理容・美容・浴場業（▲50→▲100）

来期の業況感ＢＳＩは △ 49　（今期から 11 ポイント下降）

図５－(4)　地域別BSIの推移【オホーツク】

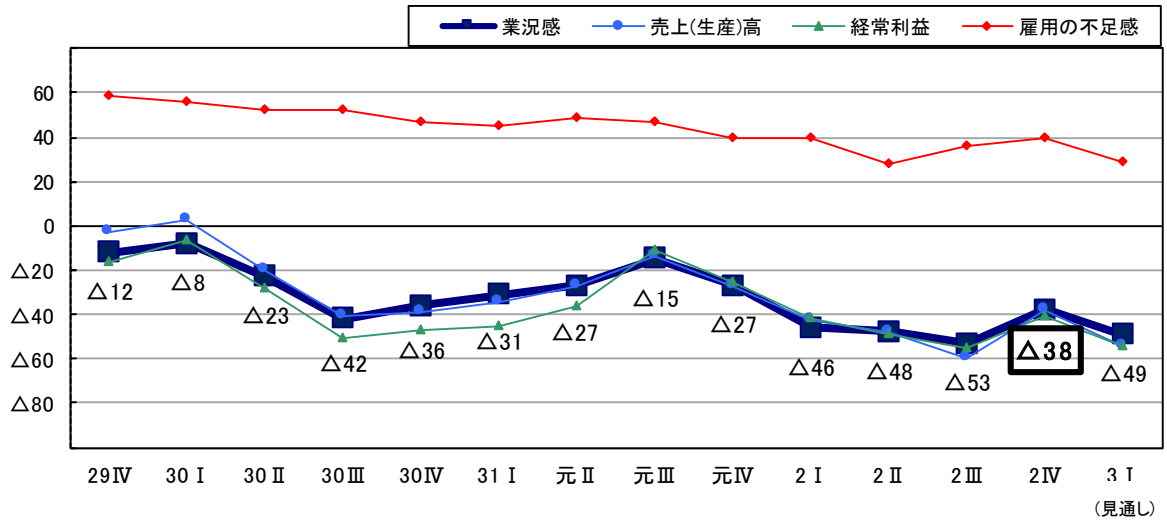


表５－(6)　地域別BSI（オホーツク）

区　分		R2年 7-9月 実績BSI	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 53	5	52	43	△ 38	15	3	45	52	△ 49	△ 11
	建設業	0	8	84	8	0	0	8	67	25	△ 17	△ 17
	製造業	△ 30	0	36	64	△ 64	△ 34	0	55	45	△ 45	19
	卸売･小売業	△ 77	8	61	31	△ 23	54	8	46	46	△ 38	△ 15
	運輸業	△ 88	0	27	73	△ 73	15	0	36	64	△ 64	9
	サービス業	△ 72	9	46	45	△ 36	36	0	18	82	△ 82	△ 46
売上（生産）高	全産業	△ 60	9	44	47	△ 38	22	3	40	57	△ 54	△ 16
	建設業	△ 16	17	75	8	9	25	8	75	17	△ 9	△ 18
	製造業	△ 46	0	27	73	△ 73	△ 27	0	45	55	△ 55	18
	卸売･小売業	△ 77	15	47	38	△ 23	54	8	23	69	△ 61	△ 38
	運輸業	△ 78	0	27	73	△ 73	5	0	36	64	△ 64	9
	サービス業	△ 78	9	46	45	△ 36	42	0	18	82	△ 82	△ 46
経常利益	全産業	△ 55	7	45	48	△ 41	14	3	40	57	△ 54	△ 13
	建設業	△ 16	17	75	8	9	25	8	59	33	△ 25	△ 34
	製造業	△ 59	0	45	55	△ 55	4	0	45	55	△ 55	0
	卸売･小売業	△ 61	8	38	54	△ 46	15	8	38	54	△ 46	0
	運輸業	△ 78	0	27	73	△ 73	5	0	27	73	△ 73	0
	サービス業	△ 61	9	36	55	△ 46	15	0	27	73	△ 73	△ 27
雇用者の不足感	全産業	36	47	46	7	40	4	38	53	9	29	△ 11
	建設業	50	58	42	0	58	8	58	42	0	58	0
	製造業	50	45	46	9	36	△ 14	33	59	8	25	△ 11
	卸売･小売業	15	23	62	15	8	△ 7	15	70	15	0	△ 8
	運輸業	56	64	36	0	64	8	64	36	0	64	0
	サービス業	23	45	46	9	36	13	18	55	27	△ 9	△ 45

（５）　十勝

今期の業況感ＢＳＩは △ 44 （前期から２ポイント下降）

主な上昇業種･･･自動車小売業等の機械器具小売業（▲75→0）
主な下降業種･･･食料品製造業（▲34→▲100）、生産用機械器具製造業（▲33→▲67）
飲食料品卸売業（▲33→▲67）、倉庫業（100→0）、物品賃貸業（▲50→▲100）
技術サービス業（0→▲50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 44 （今期から横ばい）

図５－(５) 地域別BSIの推移【十勝】

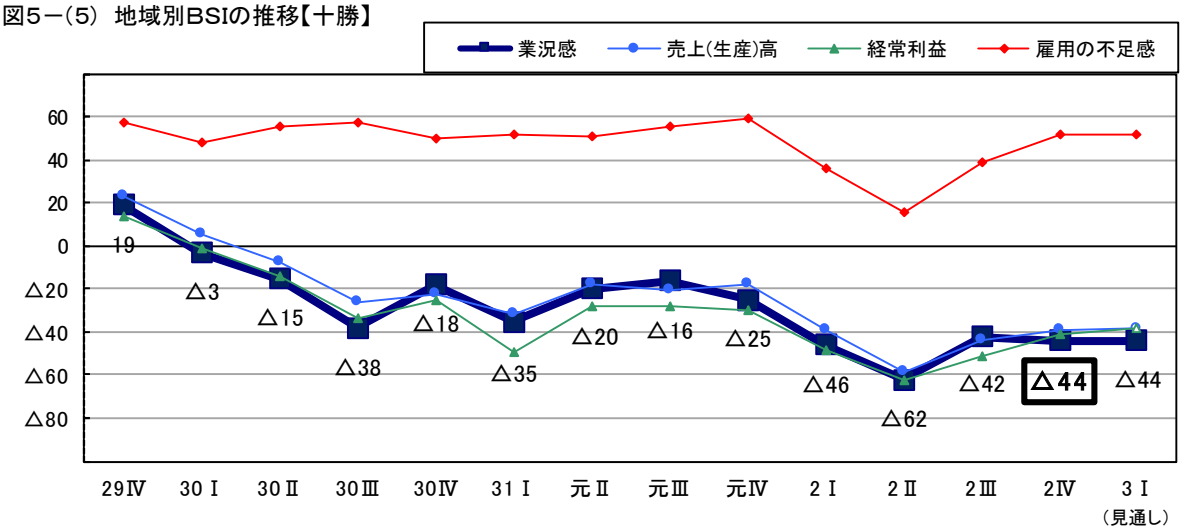


表５－(７) 地域別BSI(十勝)

区　分		R2年7-9月実績BSI	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 42	8	40	52	△ 44	△ 2	5	46	49	△ 44	0
	建設業	△ 20	9	73	18	△ 9	11	9	64	27	△ 18	△ 9
	製造業	△ 55	0	17	83	△ 83	△ 28	8	25	67	△ 59	24
	卸売･小売業	△ 62	15	31	54	△ 39	23	9	55	36	△ 27	12
	運輸業	△ 34	10	50	40	△ 30	4	0	70	30	△ 30	0
	サービス業	△ 44	7	33	60	△ 53	△ 9	0	27	73	△ 73	△ 20
売上（生産）高	全産業	△ 44	13	35	52	△ 39	5	8	46	46	△ 38	1
	建設業	△ 27	9	73	18	△ 9	18	9	82	9	0	9
	製造業	△ 55	8	9	83	△ 75	△ 20	27	9	64	△ 37	38
	卸売･小売業	△ 64	31	15	54	△ 23	41	8	59	33	△ 25	△ 2
	運輸業	△ 34	10	50	40	△ 30	4	0	60	40	△ 40	△ 10
	サービス業	△ 44	7	33	60	△ 53	△ 9	0	27	73	△ 73	△ 20
経常利益	全産業	△ 51	10	39	51	△ 41	10	8	46	46	△ 38	3
	建設業	△ 46	9	73	18	△ 9	37	0	82	18	△ 18	△ 9
	製造業	△ 60	0	17	83	△ 83	△ 23	27	0	73	△ 46	37
	卸売･小売業	△ 71	23	39	38	△ 15	56	8	59	33	△ 25	△ 10
	運輸業	△ 25	10	50	40	△ 30	△ 5	0	70	30	△ 30	0
	サービス業	△ 50	7	26	67	△ 60	△ 10	7	26	67	△ 60	0
雇用者の不足感	全産業	39	59	34	7	52	13	59	34	7	52	0
	建設業	60	82	18	0	82	22	82	18	0	82	0
	製造業	10	25	75	0	25	15	18	82	0	18	△ 7
	卸売･小売業	36	62	30	8	54	18	67	25	8	59	5
	運輸業	67	90	10	0	90	23	90	10	0	90	0
	サービス業	18	47	33	20	27	9	47	33	20	27	0

（６）　釧路・根室

今期の業況感ＢＳＩは △ 42（前期から４ポイント上昇）

主な上昇業種･･･パルプ・紙・紙加工品製造業（▲50→50）、窯業・土石製品製造業（▲100→0）
水運業（▲100→0）、廃棄物処理業（▲100→0）

主な下降業種･･･食料品製造業（▲50→▲100）、輸送用機械器具製造業（100→50）
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業（0→▲50）、飲食料品小売業（50→0）
物品賃貸業（▲50→▲100）、自動車整備業（0→▲50）

来期の業況感ＢＳＩは △ 46 （今期から４ポイント下降）

図５－(6) 地域別BSIの推移【釧路･根室】

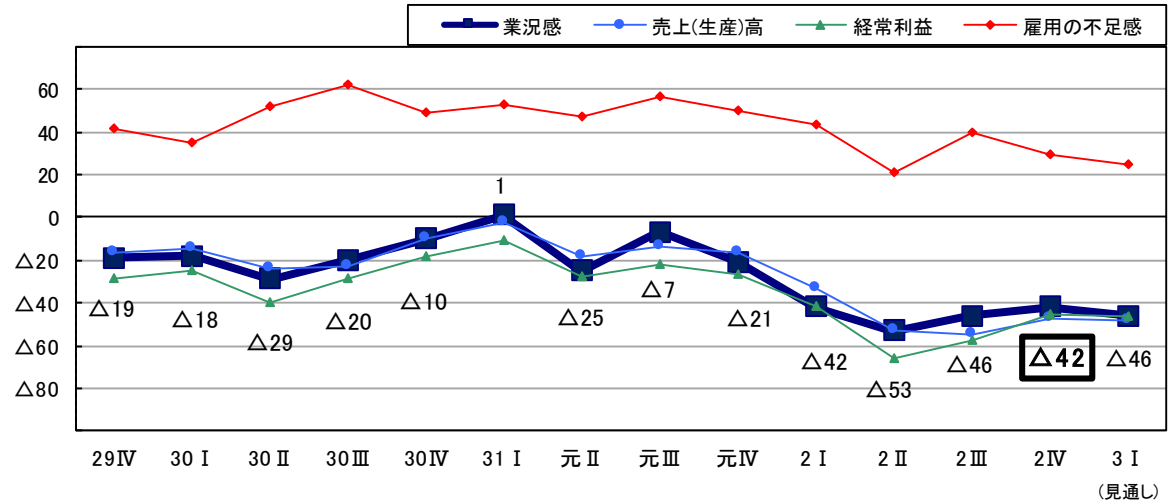


表５－(8) 地域別BSI(釧路･根室)

区　分		R2年7-9月実績BSI	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
業況感	全産業	△ 46	8	42	50	△ 42	4	3	48	49	△ 46	△ 4
	建設業	△ 9	9	55	36	△ 27	△ 18	9	55	36	△ 27	0
	製造業	△ 36	27	46	27	0	36	9	46	45	△ 36	△ 36
	卸売･小売業	△ 50	0	33	67	△ 67	△ 17	0	44	56	△ 56	11
	運輸業	△ 62	0	55	45	△ 45	17	0	70	30	△ 30	15
	サービス業	△ 66	6	27	67	△ 61	5	0	33	67	△ 67	△ 6
売上(生産)高	全産業	△ 55	8	37	55	△ 47	8	7	38	55	△ 48	△ 1
	建設業	△ 27	9	36	55	△ 46	△ 19	9	46	45	△ 36	10
	製造業	△ 43	27	46	27	0	43	9	46	45	△ 36	△ 36
	卸売･小売業	△ 59	0	33	67	△ 67	△ 8	22	22	56	△ 34	33
	運輸業	△ 69	0	45	55	△ 55	14	0	55	45	△ 45	10
	サービス業	△ 69	6	27	67	△ 61	8	0	28	72	△ 72	△ 11
経常利益	全産業	△ 58	10	35	55	△ 45	13	7	40	53	△ 46	△ 1
	建設業	△ 27	9	36	55	△ 46	△ 19	9	36	55	△ 46	0
	製造業	△ 72	27	37	36	△ 9	63	9	46	45	△ 36	△ 27
	卸売･小売業	△ 59	0	44	56	△ 56	3	22	34	44	△ 22	34
	運輸業	△ 62	9	46	45	△ 36	26	0	64	36	△ 36	0
	サービス業	△ 66	6	22	72	△ 66	0	0	28	72	△ 72	△ 6
雇用者の不足感	全産業	40	32	65	3	29	△ 11	30	65	5	25	△ 4
	建設業	36	18	82	0	18	△ 18	9	82	9	0	△ 18
	製造業	57	45	55	0	45	△ 12	45	55	0	45	0
	卸売･小売業	25	33	56	11	22	△ 3	22	67	11	11	△ 11
	運輸業	54	27	64	9	18	△ 36	27	64	9	18	0
	サービス業	26	33	67	0	33	7	39	61	0	39	6

6　道内の景況感

今期の道内の景況感ＢＳＩは △ 59（前期から 11 ポイント下降）

・業種別にみると、運輸業でマイナス幅が縮小、建設業、製造業、卸売・小売業、サービス業でマイナス幅が拡大
・地域別にみると、すべての地域でマイナス幅が拡大

来期の道内の景況感ＢＳＩは △ 65 （今期から 6 ポイント下降）

図6　道内の景況感

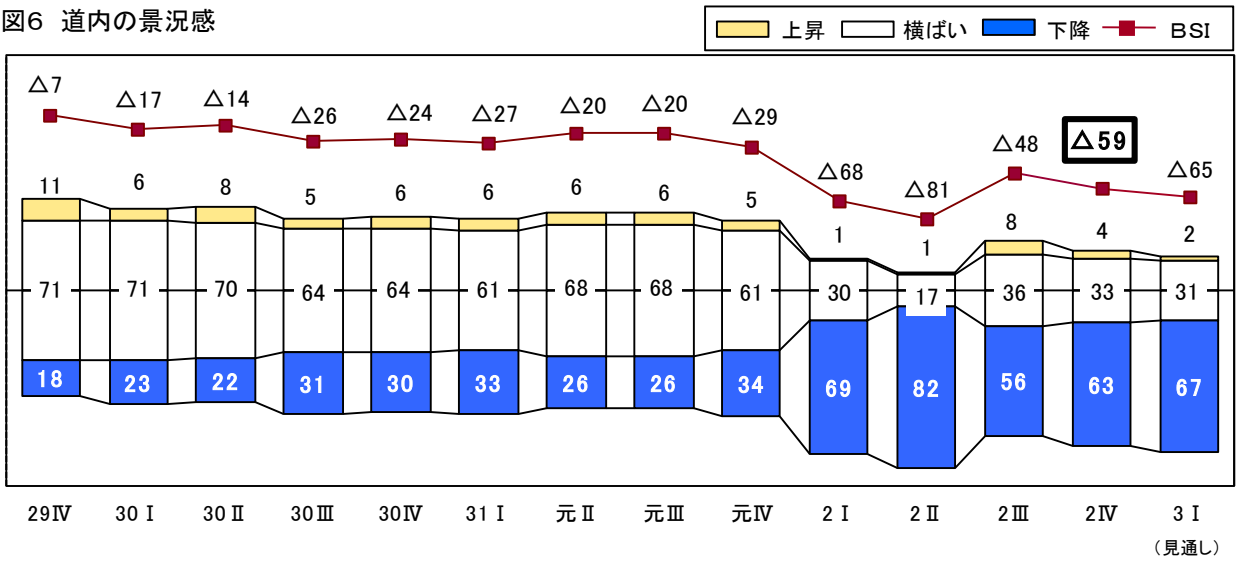


表6　道内の景況感（業種・資本金・地域別）

区　分		R2年7-9月実績	R2年10-12月実績 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅	R3年1-3月見通し 上昇	横ばい	下降	BSI	変化幅
総　計		△ 48	4	33	63	△ 59	△ 11	2	31	67	△ 65	△ 6
	札幌市を除く	△ 49	4	32	64	△ 60	△ 11	1	29	70	△ 69	△ 9
	札幌市	△ 46	3	40	57	△ 54	△ 8	3	39	58	△ 55	△ 1
業種	建設業	△ 49	1	45	54	△ 53	△ 4	2	39	59	△ 57	△ 4
	製造業	△ 45	4	34	62	△ 58	△ 13	1	37	62	△ 61	△ 3
	卸売･小売業	△ 48	6	33	61	△ 55	△ 7	2	33	65	△ 63	△ 8
	運輸業	△ 56	4	42	54	△ 50	6	1	38	61	△ 60	△ 10
	サービス業	△ 46	5	22	73	△ 68	△ 22	2	20	78	△ 76	△ 8
資本金	5千万円未満	△ 53	4	29	67	△ 63	△ 10	2	27	71	△ 69	△ 6
	5千万以上～1億円未満	△ 35	5	35	60	△ 55	△ 20	3	33	64	△ 61	△ 6
	1億円以上	△ 47	5	48	47	△ 42	5	1	45	54	△ 53	△ 11
地域	道南	△ 46	8	27	65	△ 57	△ 11	0	27	73	△ 73	△ 16
	道央	△ 43	3	37	60	△ 57	△ 14	2	31	67	△ 65	△ 8
	札幌市を除く	△ 40	3	33	64	△ 61	△ 21	1	25	74	△ 73	△ 12
	札幌市	△ 46	3	40	57	△ 54	△ 8	3	39	58	△ 55	△ 1
	道北	△ 50	5	30	65	△ 60	△ 10	3	32	65	△ 62	△ 2
	オホーツク	△ 61	3	31	66	△ 63	△ 2	2	32	66	△ 64	△ 1
	十勝	△ 51	5	31	64	△ 59	△ 8	2	29	69	△ 67	△ 8
	釧路･根室	△ 57	2	35	63	△ 61	△ 4	2	33	65	△ 63	△ 2

7 業種・圏域別企業経営者の声（令和 2 年 10-12 月）

【建設業】

道南	・コロナ後の公共事業費に不安を抱いていたが、政府予算を見て、若干不安は解消されました。（一般土木建築工事業） ・コロナによる先行きの不透明さが不安。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・売上が減少しているので、公共事業を減らさないでほしい。（一般土木建築工事業）
道央	・早くコロナが終息してくれれば、景気が少しずつでも上向きになるし、来年度の予算のとり方も違うと思う。今はコロナに感染しないようにすることを最優先にしながら仕事を続けている状態なので、効率がいつもとは違うけれど頑張るのみ。（一般土木建築工事業） ・新型コロナウイルスで先が見えません。歴史に残る感染症と思います。更に、設備の更新には、注意が必要と考えます。経営にも二者択一の事案もこれから出てくると思います。経営の体質を再度見直し、改善して行きますが、特例になる事案もこれからあると思いますが、時代の波に乗り遅れることなく事業を回して行く所存です。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・新規入職者に対し本州を含めた地域よりＩターンＵターンの希望者の情報提供並びに斡旋を、多様なツールを利用してご紹介いただきたいと希望いたします。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・ＰＣＲ全員検査。未だにＰＣＲ検査の拒否があると聞きます。なぜ検査ができないのか不思議です。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・新型コロナウイルス感染症の影響で有効求人倍率が低下しておりますが、建設業を取り巻く、雇用者の確保は厳しいと感じております。当社も雇用者の確保が当面の課題であり、官民の情報共有や行政の後押し等のご助力を願いたい。（舗装工事業） ・有資格者（建築士）が不足しており人材確保が課題。ホテル部門の売上が激減しており、観光復興支援策の強化を行政に期待する。（木造建築工事業）
道北	・課題としては従来と変わらず、技術社員の不足がある。退職者の増加傾向があり新規採用できても結果的に技術社員の増加になっていない。技術社員が増えれば工事受注量が増加する可能性がある。新型コロナ対策費用が行政の負担増となっていることを理解しているが、公共工事は経済の下支えに不可欠であり、雇用の継続に必要な受け皿でもあります。社会の安定に公共事業費の確保は大変重要と考えます。（土木工事業（舗装工事業を除く）） ・コロナ対応は個々に気をつけるしかないというのが実態。感染してもどうしようもない。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・新型コロナ感染拡大の収束が見えず、経済全体に停滞感が増している。業界としては、コロナに伴う財政支出の増加から公共投資の減少が懸念され、民間においても設備計画の先送りや中止と言った事例も出始めており、売上への悪影響が見込まれる。「働き方改革」への取組も含めて、従来の仕事のやり方を変える合理化努力も必要ではあるが、行政においてはコロナ拡大を食い止め、封じ込める政策を最優先に進めてほしい。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・新型コロナを２類感染症から５類程度へ引き下げる声を行政からも発信してほしいです。このままの政策を続けるとコロナで死ぬよりも経済が回りません。経済が回らなければ、企業の業績悪化が進み、税収が上がらず公務員の人員削減につながります。方向性を間違うと日本は沈没します。（木造建築工事業） ・社員の高齢化、若手社員採用が依然として中小企業にとっては厳しい。（土木工事業）
オホーツク	・公共事業の予算確保および早期発注を望む。（一般土木建築工事業） ・公共工事の継続的発注並びに発注額維持を望む。（電気工事業）

十勝	・今後コロナウイルス感染増大が予想され、建設業界からもちらほら感染者が確認されており、先のことも考え、備えとして無利息・無金利にて資金投入を行ったが、現在が非常に辛く資金投入している会社等は、３年後に開始される返済が非常に難しくなると予想しており、国も道も相当に考えておかなければならないと思う。建設業界においては官公庁・民間共に工事発注が減ると思われるため、３年後に何か驚く程の政策が必要かと思います。（建築工事業（木造建築工事業を除く）） ・建設業を営む弊社にとって、新型コロナウイルスの影響は今期に限っては直接的な影響は肌で感じられる程ではなかったが、一方で来期の民間の受注が思うように進まず、多大な影響を受けていると言わざるを得ない。一方の公共工事についても新型コロナウイルスに多大な予算が使用されており、今年度対比発注額が減額になるのではないかとの不安がある。いずれにしても新型コロナウイルスが収まらない限り苦戦を強いられそうな状況である。（一般土木建築工事業）
釧路･根室	

【製造業】

道南	・北海道全域での考え方の違いを把握されたほうがよい。コロナ対策や考え方は地方のほうがシビアです。札幌圏の方々のやり方がヌルイと思っています。まずは公共交通機関（電車、バス、地下鉄）の停止を強く希望する。札幌が多いと北海道全体が悪く見られ、お客さんが来ない。（船舶製造・修理業，舶用機関製造業） ・原料の高騰に加え、良い人材が集まらない。設備投資をしたいが、資金もなく返済見通しも無い。（水産食料品製造業）
道央	・新型コロナの影響で売上低迷が続くと、資金繰りが悪化するので、道や政府には持続化給付金などの強力な支援をお願いしたい。（農業用機械製造業（農業用器具を除く）） ・コロナ禍を一刻も早く収束させ経済を停滞させることのないように希望します。 （生コンクリート製造業） ・全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されておりますが、感染状況に関する情報発信が不透明に思えます。従業員への情報発信（周知）も一般的な注意喚起しか出来ないので、その点についてご検討いただければ幸いです。（自動車・同附属品製造業） ・新型コロナの終息が見えず、先行きの不安がある。（調味料製造業） ・コロナ禍の状況下、感染予防には注意しているが、工場内で感染者が出た場合、稼働がストップすることにより、納期遅れ等のリスクが危惧される。行政には、感染を抑えるべく更なる対策の実施等、一層の努力をお願いしたい。（外衣・シャツ製造業（和式を除く）） ・雇用調整助成金の適用期間を６月くらいまで延長することを望む。（電子部品製造業） ・コロナ発生場所の明確化。感染拡大防止の観点から詳細な情報発信をお願いします。守るべきは個人情報ではなく、人の命かと存じます。（無機化学工業製品製造業） ・効果的なコロナ感染防止策を早急に実施していただきたい。（酒類製造業）
十勝	・国と自治体が一緒になって一貫性のある政策を立て、実施して検証していく。いわゆるＰＤＣＡをしっかり回していくことが大事だと思う。失敗はちゃんと失敗として認め、すぐに新しい方法を考えて実行していけば国民も理解してくれると思う。（水産食料品製造業） ・コロナ禍の長期化に伴い経済が回らなくなり、徐々に当社にも影響が出てきた。建築意欲が減退することは避けられないことではあるが、何らかの刺激策を考えていただきたい。 （建設用・建築用金属製品製造業（製缶板金業を含む））

【卸売・小売業】

道南	・強制力ある行動制約等による早期の事態収拾と、それに伴う適正な支援金の配分を望む。 （自動車（新車）小売業） ・まずは早く新型コロナ感染が収まることを希望します。コロナをあおらないように！行政からの支援、助成金の回数を増やすことが大事です。（婦人・子供服小売業）
道央	・給付金、助成金等の手続が煩雑で速やかに受けられないとの声をよく聞きます。とにかく簡単に早く受けられる様にしてほしい。（燃料小売業） ・萎縮した経済の上向きを感じるまでには、概ね３年程度を要すると考えている。当社は、産学共同で、画期的新技術の開発に取り組んでいるが、行政には橋渡しをお願いしたいと思っております。 （衣服卸売業） ・新型コロナウイルスが止まなければだめだ。（婦人・日用雑貨小売業、紳士服洋品） ・北海道の魅力を活かした活動と教育を道民皆で作り上げて行きたいです。 （機械器具小売業（自動車，自転車を除く）） ・春先に比べ、最近の道としてのコロナ対策が遅く後手に回っているように思われます。 （建築材料，鉱物・金属材料等卸売業）
道北	・コロナの早期終了を願う。（各種食料品小売業） ・コロナが収束しないと来年はもっと厳しいだろう。（食肉卸売業） ・ご支援のおかげで 12 月の売上は前年を上回り、同期利益率を大きく超えております。 （飲食料品卸売業）
オホーツク	・早くコロナが収束することを期待します。（建設資材卸売業） ・補助金等々申請する場合の書類など手続の簡素化を望む。（産業機械器具卸売業）
十勝	・人手不足に苦戦しています。若い人の忍耐力、考える力等が低迷していると感じます。教育現場の変革を望みます。便利なものが増えすぎて、考えたり努力することが不要となっている。子供に苦労はさせない親が増えていると思います。日本が経済成長したのは、戦後の苦労があったからと思います。残業はしない、最低賃金は上昇、人は育たない、これでは会社の運営は大変です。日本がどうなるかも不安です。（自動車小売業） ・コロナの影響で外出する方々が減ったため、燃料の売上が減っています。ＧｏＴｏキャンペーンの時はやはり売上が伸びたので、コロナが落ち着いたら、また道民だけでキャンペーンを始めてほしいです。（ガソリンスタンド） ・歳末は、当社のイベントと商工会のイベントのダブルで消費拡大を願って対応しているが、その後の反動で、トータルでは前年比で現状維持か、10～20%減少の見込み。（ドラッグストア）
釧路･根室	・若干の人手不足が課題。求人してもなかなか来ない。（各種商品小売業）

【運輸業】

道南	・新型コロナウイルスの影響で海外のみならず国内需要も減退し、今のところ手の打ちようがなく、一刻も早いコロナウイルスの終息を願っており、終息までの手厚い補助金及び給付金等をお願いいたします。（内陸水運業） ・新型コロナウイルス感染症の影響に対する国や自治体の支援制度の継続・拡充をお願いしたい。 （鉄道業）
道央	・燃料価格がまだまだ高い。燃料にかかる税金が高い。（一般貨物自動車運送業） ・事業所税等の減免措置を望む。（倉庫業） ・道や市は時短営業や自粛を訴え続けているが、経済が困窮すれば生活自体が出来なくなる。物流業者は、いやでも外に出て届けなければならず、ルールを遵守して通常生活を出来るように引っ張ってい

	ただきたい。飲食も時短ではなく、営業時間は通常にして、滞在時間制限を設ける等、商売する側の身も考慮していただきたい。（一般貨物自動車運送業） ・通信、光ケーブルが入っていないためネットが使えない。電波も弱い。（一般貸切旅客自動車運送業） ・とにかくコロナが収束し、経済活動が動いてほしい。（一般貨物旅客自動車運送業） ・コロナにより大変なのは事実ですが、着実な経営を継続していると今回の様な事態になっても特に危機的な状況には至らないと思います。通常時における経営全般に対する心配りが大切なことと思います。（一般貸切旅客自動車運送業）
道 北	・これから先は全く読めない感じです。これで医療体制がパンクすると、当社も大打撃は間違いないです。（一般貨物自動車運送業） ・若干ですが公共事業に関わる輸送が減ってきているのが心配です。（一般貨物自動車運送業）
オホーツク	・慢性的な運輸業での人員不足が課題。行政は運輸業の行く末に関心がないことが明け透けである。新型コロナウイルス対策については成し遂げたいことが見えてこない。感染拡大阻止が絶対なら外国人を完全遮断した上で飲食店を完全閉鎖するべき。新型コロナウイルスで何人死のうが経済優先するなら全ての規制を解除するべき。両立できるような都合のいい策は存在しない。どっち付かずだけはやめるべき。（一般乗用旅客自動車運送業） ・田舎の事業所等の悲鳴にしっかり耳を傾けて下さい。（一般乗用旅客自動車運送業）
十 勝	・コロナ終息に向けた対応と補助金を望む。（一般乗用旅客自動車運送業）
釧路･根室	・風評被害により乗車率が下がることが不安です。（一般乗用旅客自動車運送業） ・地方の人口減少対策や活性化のために、地方への企業分散を推進してほしい。 （一般貨物自動車運送業） ・売上減少に伴って、人員の確保、車両の維持が厳しい状況で、助成等の要件となっている売上減少のパーセントの見直しを希望する。（一般乗用旅客自動車運送業）

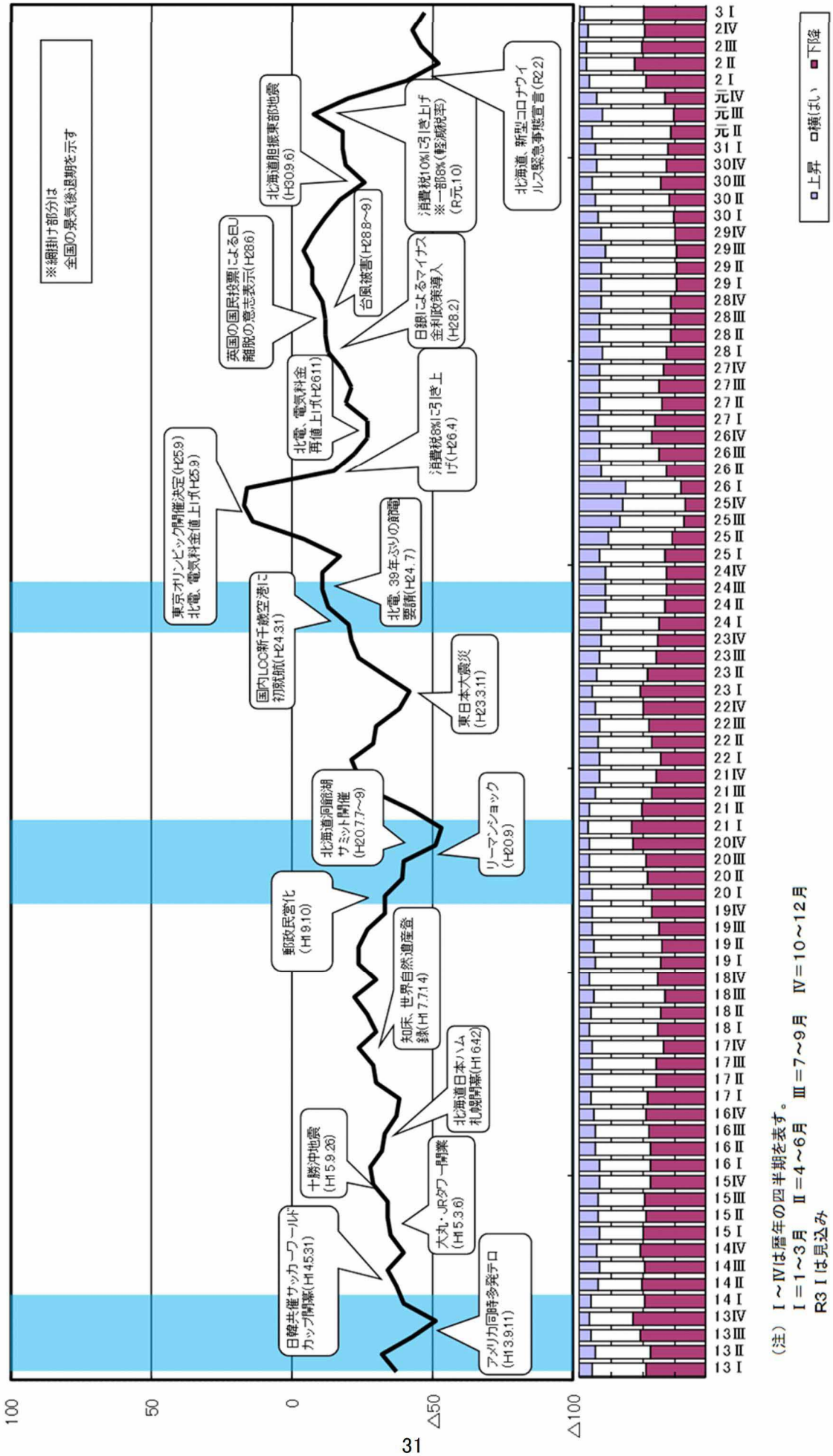
【サービス業】

道 南	・テナントの退去がないように、アフターの徹底とメンテナンスの強化、入居の促進の強化を中心に、入居者様の満足度に傾注してまめなアフターに努めていきたいと思います。 （電気通信に附帯するサービス業） ・コロナの第３波にて経営は本当に大変です。国の事業のＧｏＴｏの運用の仕方にも問題が多数あり、このままだと社員パート問わず、解雇していくより道はないところまで来ています。（旅館、ホテル） ・コロナ収束（終息）につきます。（タワー搭乗、土産品等小売業） ・コロナの早期終結を願うのみ。（旅館、ホテル） ・経営が破綻しないよう支援金などしっかりやってほしい。（喫茶店） ・人口減少が続いており、先行きは不透明。後継者不在も課題。（自動車整備業）
道央	・コロナ禍で異業種に転職した際の助成金の間口はもっと広げて、アピールももっとしてほしい。 （警備業） ・このままこの状況が続くと、我々のような体力のない会社はもちません。なんとか助けて下さい。従業員の生活がかかっております。（配達飲食サービス業） ・税一般を軽減してほしい。特に固定資産税。賃金の時給が年々上がって、特に千歳市はトップの方なので苦しい。（旅館、ホテル） ・コロナの関係で売上が減少しお金がありません。お店を経営して行けません。（酒場，ビヤホール） ・一日も早くコロナが収束することを望む。（専門料理店） ・人口減少が気にかかる。私は 75 歳でパティシエとして毎日働いておりますが、お年寄りの元気のなさを見るにつけ、明るさと希望をもって生きていける社会になってほしいです。（喫茶店）

道央	・今後の予測がつかないため、すべてに対して不安。成人式の中止は業界関係として不満。 （その他の洗濯・理容・美容・浴場業） ・新型コロナウイルスの一日も早い収束と切れ目ない公共投資の予算計上を期待している。（測量業） ・テレワーク機器の助成対象拡大を望む。（建築設計業） ・しばらくは、新型コロナウイルスが減少しないため、観光業・飲食店等を守ってほしい。 （自動車整備業） ・人材派遣会社としては、コロナの影響で取引先（主に観光業）が減少し苦戦が続いております。観光業の復活が待たれるところではありますが、当社は「特定技能」人材を海外から招聘しており、農業、建築、製造業等にご紹介させていただいております。今後さらに増えるであろう海外人材への行政としての取組をより具体的にしていただきたい。（労働者派遣業） ・ワクチンと薬をいかにスムーズに国民に行き渡らせられるかがこれからの課題。医療体制は本当に厳しい状況にある。（旅館、ホテル） ・とにかくコロナ収束です。（土木設計業） ・労働力不足解消のための外国人の受け入れ緩和を望む。（自動車整備業） ・市、道、国で、プレミアム優待券をもっと出してほしい。（美容業） ・持続化給付金と雇用調整助成金でその後は何の保証もなく、札幌の外出の自粛と時間制限を苫小牧にも当てはめてみんな自粛するので、繁忙期が無いまま暖房の燃料代だけが余分に掛かる。当然だが首が絞まる。春を越したら店終まいである。（スポーツ施設提供業） ・事実上不可能でしょうが、コロナウイスの撲滅を期待している。数年という長期戦では生き残れない。 （旅行業） ・国・道・市の尽力に感謝申し上げます。私たち観光業においても大変厳しい状況が続いていますが、安心して全国民がワクチン接種できるまでは自粛するしかないものと思います。沈静化と経済との両立はとても難しい問題。先ずは医療・介護従事者の皆様に敬意を表し、行政の手厚い政策で医療崩壊を防ぐことに全力を尽くしていただきたいと切に願います。（旅館、ホテル） ・返済がはじまったら倒産する。（旅館、ホテル） ・ＧｏＴｏキャンペーンをはじめ、国や地方自治体による各種集客施策の継続、雇用維持のため、各種助成金制度の継続、北海道には、誘客のための各種キャンペーン事業（国内外）の強化を期待する。 （旅館、ホテル） ・コロナ陽性と思われる方、又はコロナ濃厚接触者が宿泊した場合、スタッフの健康、次のお客様にも安心して利用いただくことを考え、３日間販売中止後、私が除菌清掃します。売止めの間の代金はどちらの方にお支払いいただけるのでしょうか。（旅館、ホテル） ・景気に大きく左右される業種のため、景気対策や人口対策など長期的視点の対策に加え、通信インフラの安価な提供や、テレワーク環境整備等の対策を期待。（広告業） ・従業員を確保しつつ、現状を乗り切ることが課題。（旅館、ホテル）
道北	・現在のところ、最悪の状況です。（写真業） ・雇用調整助成金制度のさらなる延長やスキー、ゴルフ事業への助成制度、ＧｏＴｏ及びどうみん割など需要喚起のさらなる期間延長を望む。（旅館、ホテル） ・人材不足に悩んでいます。幌延町で旅館の外に飲食業を行っていますが働く人がいません。コロナ等で職を失った方などを行政で具体的に照合するなどしていただくと多くの人が潤うのではないでしょうか。（旅館、ホテル） ・ＧｏＴｏなどに期待している。結婚式も助けてください。（冠婚葬祭業） ・今後ますますテレワークなどが進み、その対策により一層の設備投資が必要となる。 （土木建築サービス業）

オホーツク	・感染状況、メディアのネガティブな報道により市場が一喜一憂し、旅行市場は非常に不安定。正しい警戒・予防をしつつ、道民を含む国民が生活できるための経済活動が行われるような発信を強化していただきたい。（旅行業） ・現況では、景気浮揚ではなく、経費の補填で事業者を援助してほしい。（旅館、ホテル） ・政府は中長期的見地と短期的見地から今後の方針を国民に提示し、科学的エビデンスと補償案も含め具体的な打開策を提示してほしい。根拠と補償の不明確な自粛にはもう耐えられない。（旅館、ホテル）
十勝	・弊社は公共工事受注が主体の建設コンサルタントにつき、予算の大幅な削減がなければ経営に大きな影響はないと思いますが、地元の飲食店やホテルを含む観光事業の打撃が大きく、地域経済はかなりブレーキのかかった状態にありますので、引き続き行政のサポートを期待しております。（土木建築サービス業（建築設計業）） ・今、地方では技術力はあるが仕事の機会が減って、技術や人員を維持できない企業が水面下で増えてきています。そこで、地方の仕事は地元企業が関われるように、入札の制度の見直しを期待します。現状は、地元企業と札幌圏企業の指名入札の棲み分けがされていて、その比率は地元企業が少ない結果となっています。このままでは、緊急時に対応できる企業が地方に無くなってしまいます。１割～２割でも指名入札の地元企業の比率が変わるよう、行政には地元企業が努力をすれば仕事のスタート地点に立てるような制度づくりをしてもらいたいと思います。（建築設計業）
釧路･根室	・色々と何とかしてほしい。給付金等も査定で対象外だが、売上がマイナスなのは変わらない。（美容業） ・美容業ですが、ブライダルの業務は全般的に直接の接触を伴う作業であり、スタッフのためにも早くコロナが終息することを願っています。（美容業） ・スーパー、商店などでは、不景気感が漂っています。感染予防と経済対策の両面で対策をご検討いただければと思います。（情報サービス業） ・コロナ感染拡大の収束に向けた施策実行を願います。インバウンド効果が当時までは戻らないまでも回復を願います。家賃支援について賃貸借契約に限定されていることから、業務委託契約の場合も適用できるよう拡充を願う。持続化給付金は小規模店舗では有効かもしれませんが、人数を抱える店舗については一時金に過ぎず、コロナ収束までの継続的な支援策を望みます。（専門料理店） ・融資ではなく給付金の拡充を期待する。（旅館、ホテル）

8　業況感の長期推移



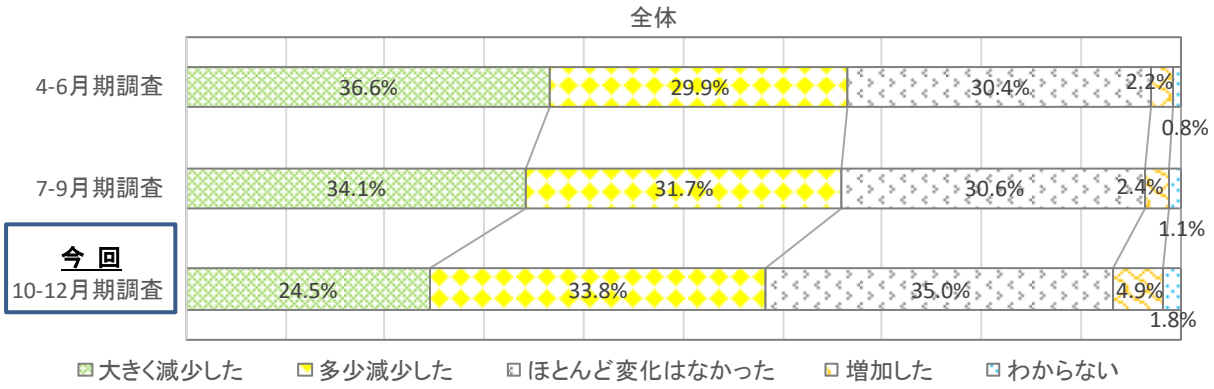
（注）Ⅰ～Ⅳは暦年の四半期を表す。
Ⅰ＝1～3月　Ⅱ＝4～6月　Ⅲ＝7～9月　Ⅳ＝10～12月
R3Ⅰは見込み

3　特別調査

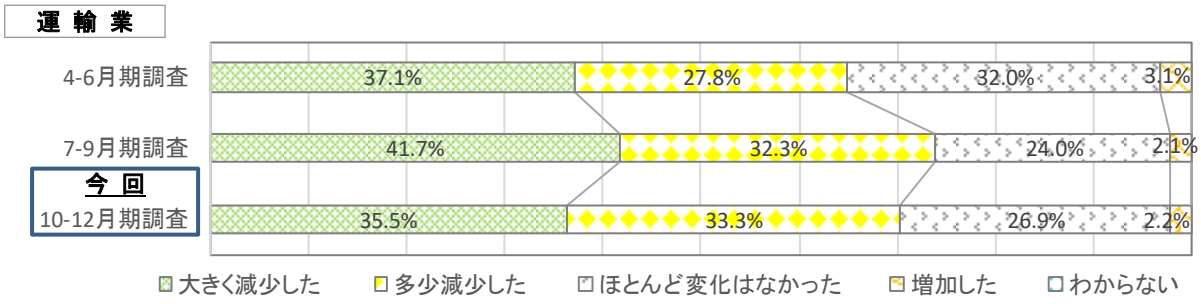
1　新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について

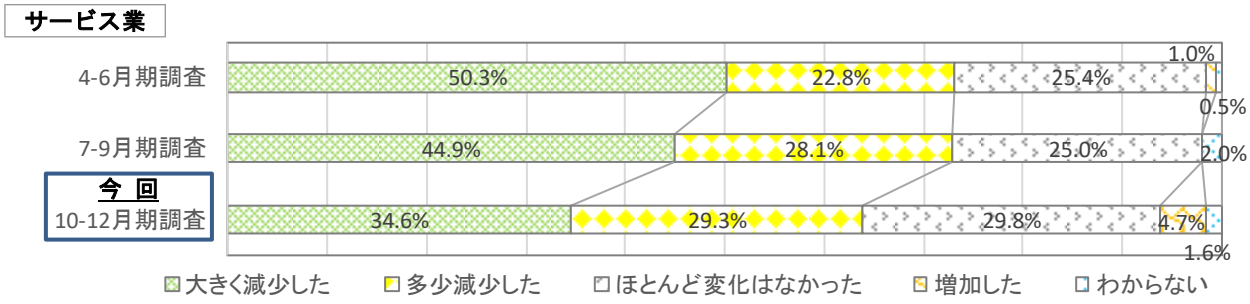
（1）新型コロナウイルス感染症の拡大による本年 10－12 月における売上･利益等への影響の程度

・売上･利益等への影響については、全体では「大きく減少した」が 24.5%、「多少減少した」が 33.8%と、合わせて 58.3%の企業が「減少した」と回答している。前回の７－９月期調査における売上･利益等との比較では、「減少した」の割合は縮小している。

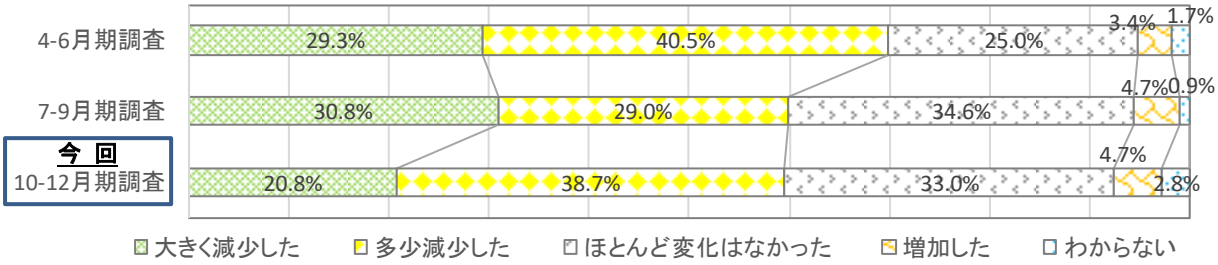


・業種別では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は運輸業で 35.5%と最も大きく、次いでサービス業が 34.6%となっている一方、建設業が４.0%と最も小さくなっている。
・前回調査との比較では、「大きく減少した」と回答した企業の割合は、全ての業種で減少しており、「多少減少した」と回答した割合と合わせても、総じて改善が認められる。

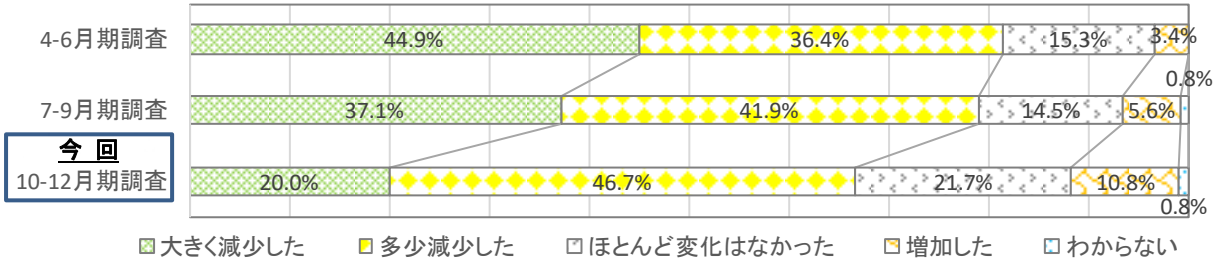




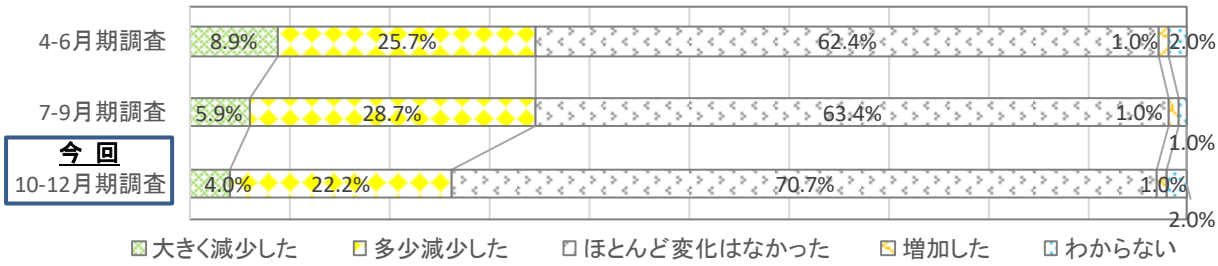
製 造 業



卸売・小売業



建 設 業

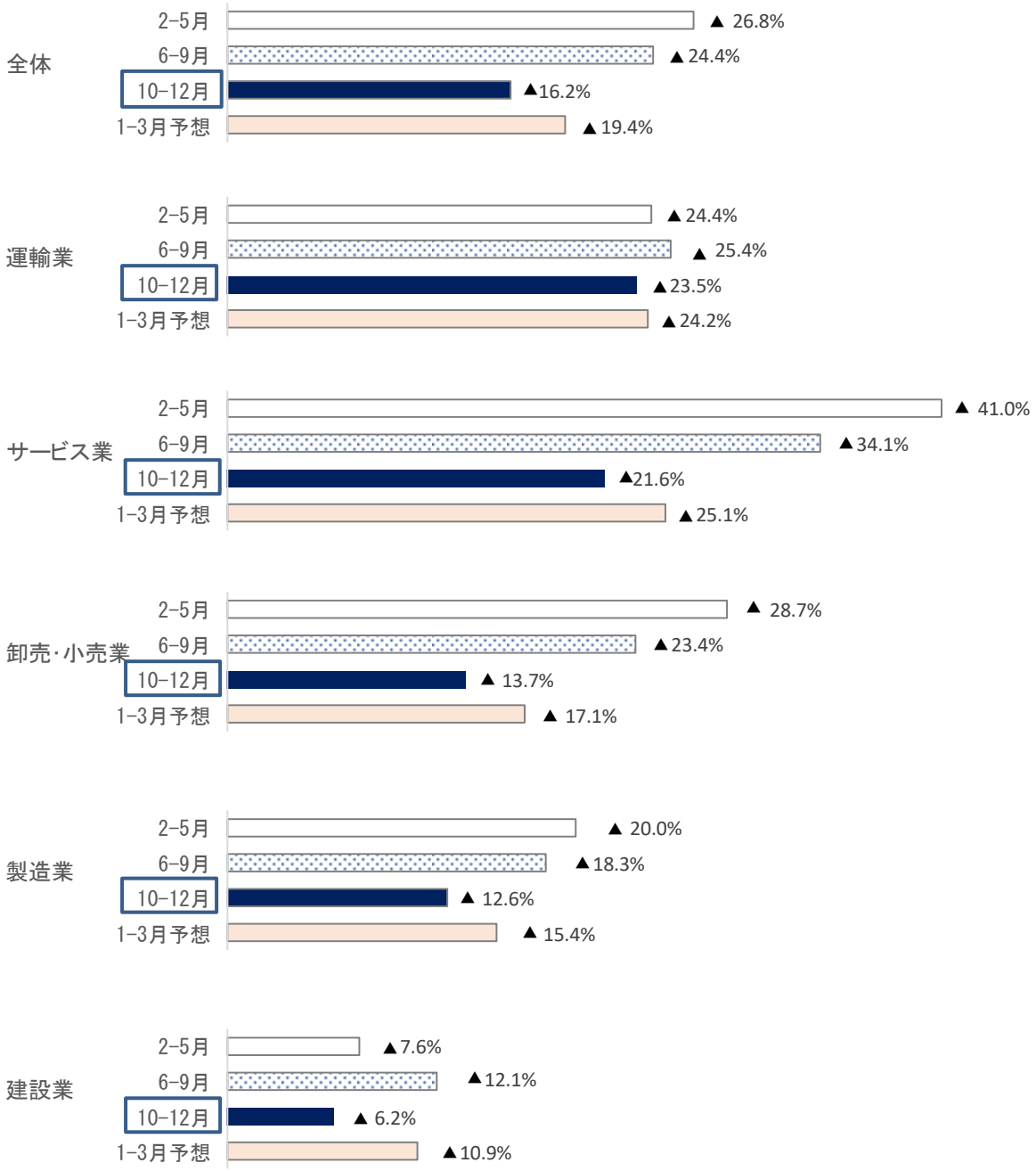


２　令和２年の 10－12 月における売上の前年同期比減少率

・本年 10－12 月における売上の前年同期比減少率の平均は、全体では▲16.2%で、前回調査における６－９月との比較では 8.2 ポイント縮小している。

・業種別では運輸業が▲23.5%と最も減少率が大きくなっており、前回との比較では、全ての業種で縮小している。

・来年１－３月における売上の前年比減少率予想の平均は、全体では▲19.4%で、10－12 月と比較すると全ての業種で悪化を予想している。

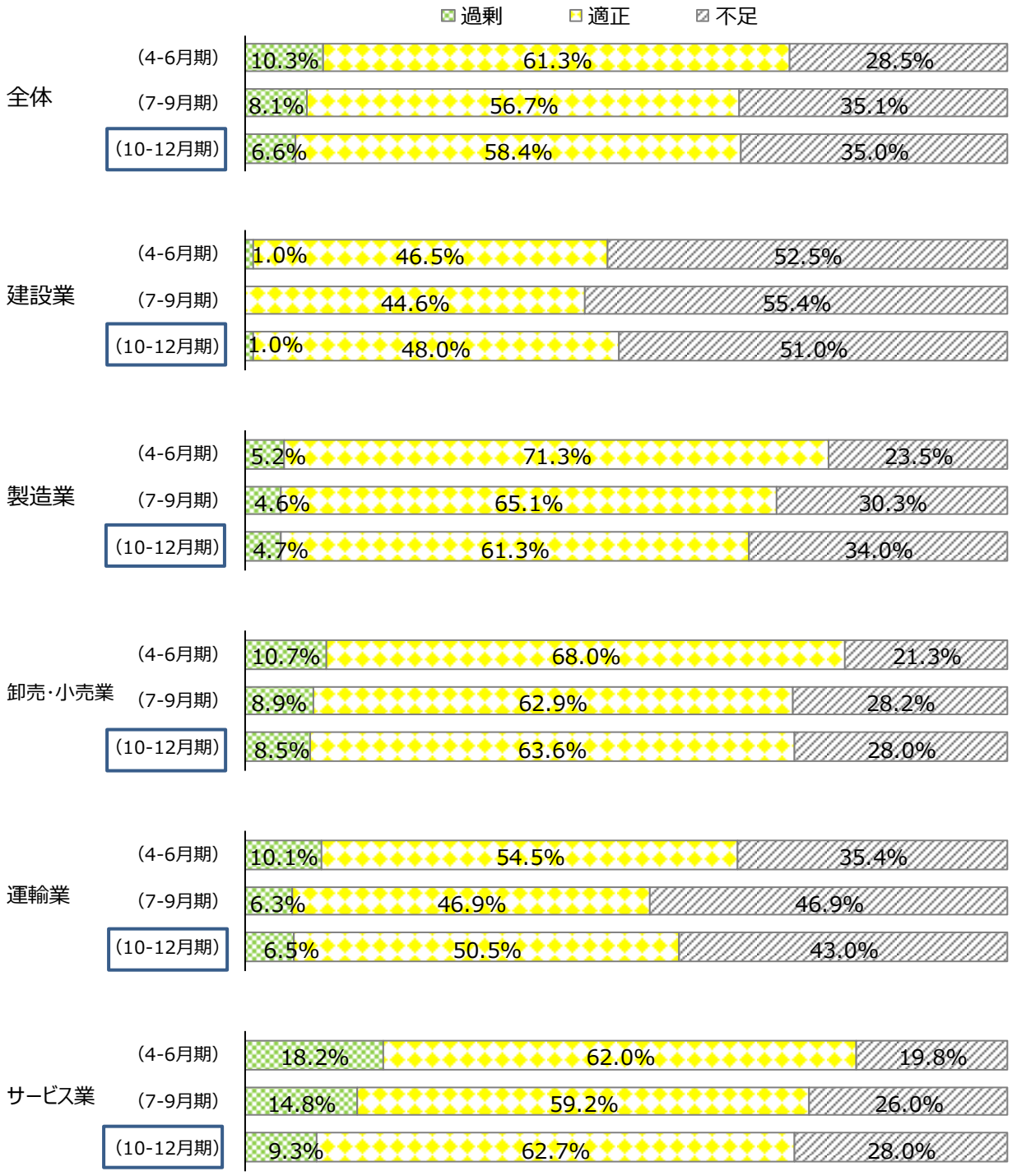


３　正規及び非正規従業員の過不足感

・正規従業員については、全体では「過剰」が 6.6%、「適正」が 58.4%、「不足」が 35.0%となっており、不足感が過剰感を上回っている。

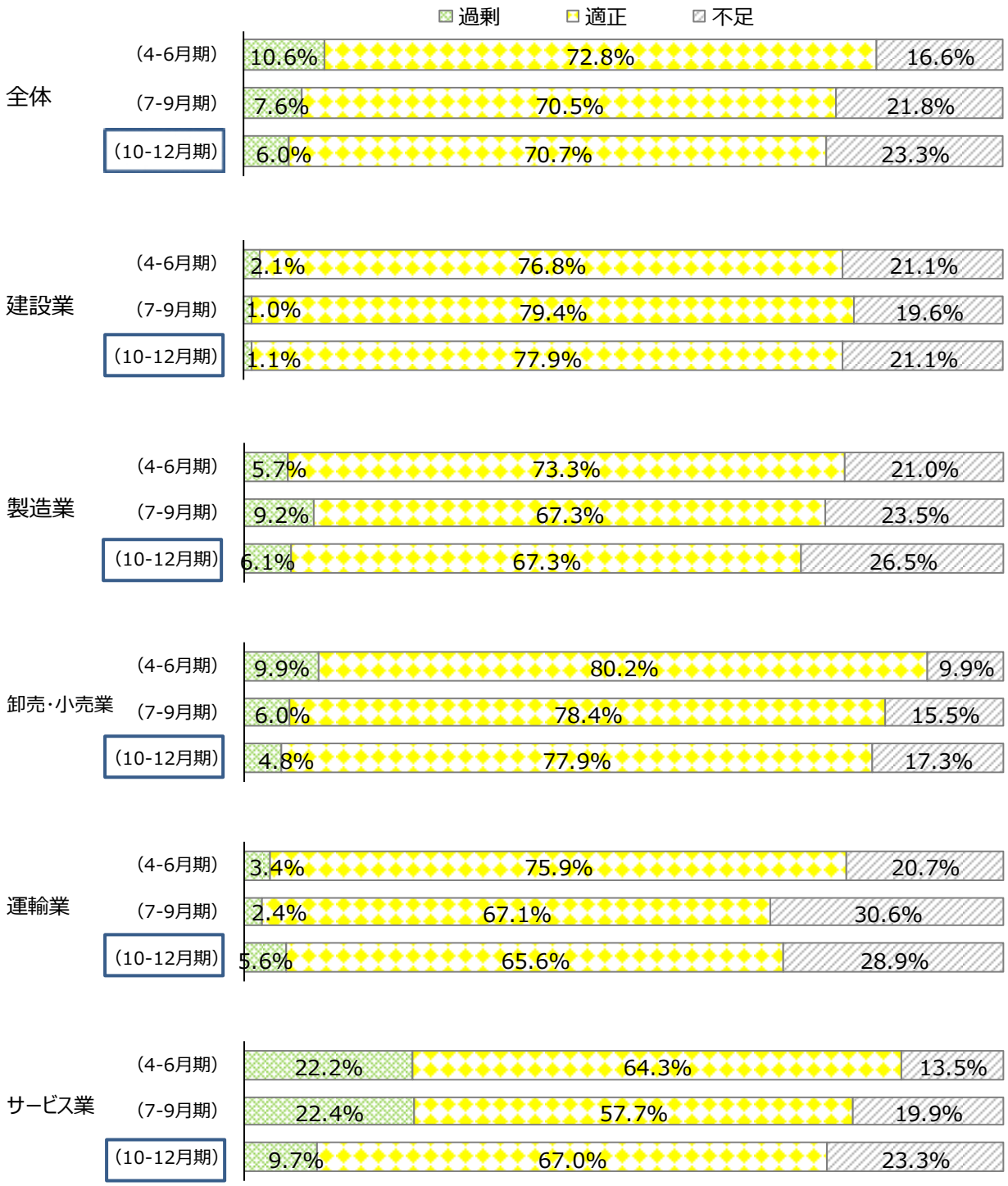
・業種別でも、全ての業種で「不足」が「過剰」を上回っている。

正規従業員



・非正規従業員については、全体では「過剰」が 6.0%で、「適正」が 70.7%、「不足」が 23.3%となっており、不足感が過剰感を上回っている。
・業種別で全ての業種で「不足」が「過剰」を上回っており、運輸業で「不足」が 28.9%と最も大きくなっている。

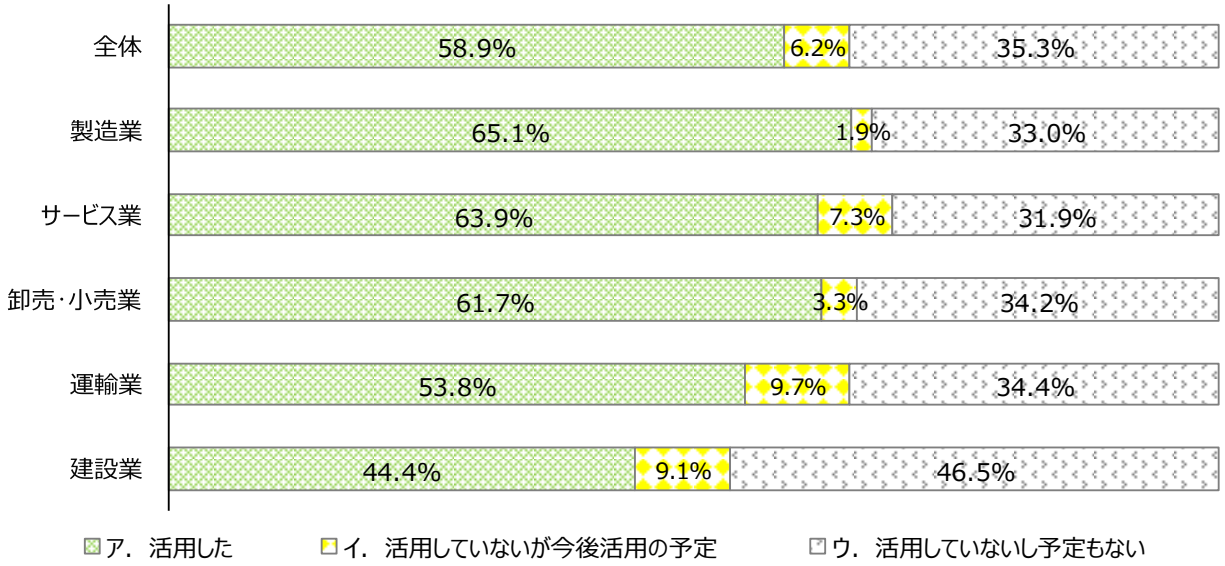
非正規従業員



4　国、道等の助成制度を活用したか（予定を含む）

・国、道等による助成制度（持続化給付金、雇用調整助成金、家賃支援給付金、休業協力支援金、無利子･無担保融資、税金等の納付猶予、小学校休業等対応助成金、その他）の活用状況については、「活用した」は全体で 58.9%、「今後活用の予定」が 6.2%、「活用していないし予定もない」が 35.3%となっている。

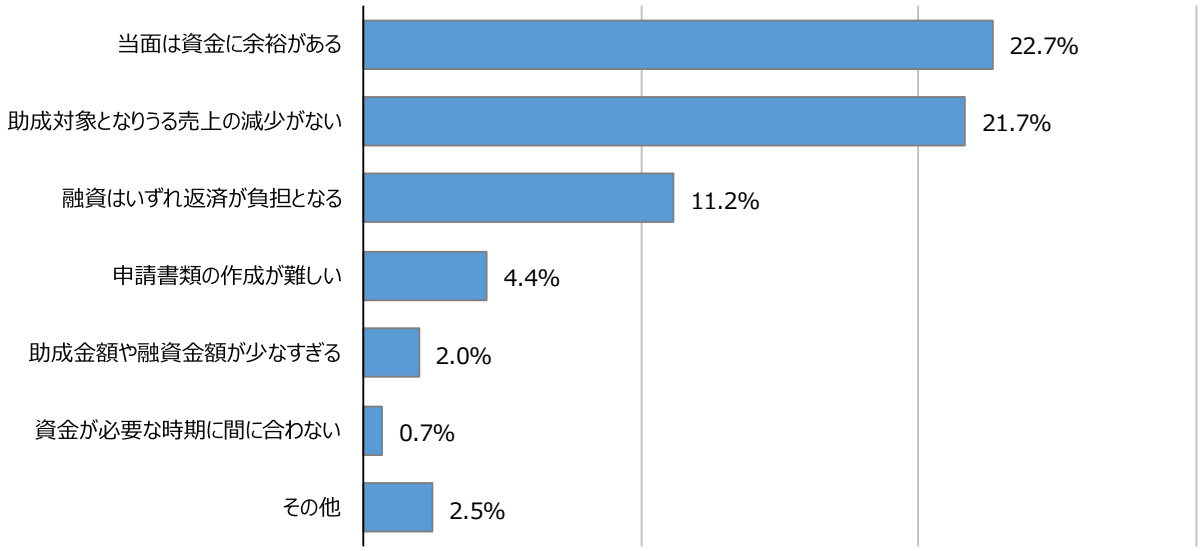
・業種別では、「活用した」と回答した企業の割合は、製造業で 65.1%と最も高く、次いでサービス業で 63.9%となっている



5　国、道等の助成制度を活用していない理由

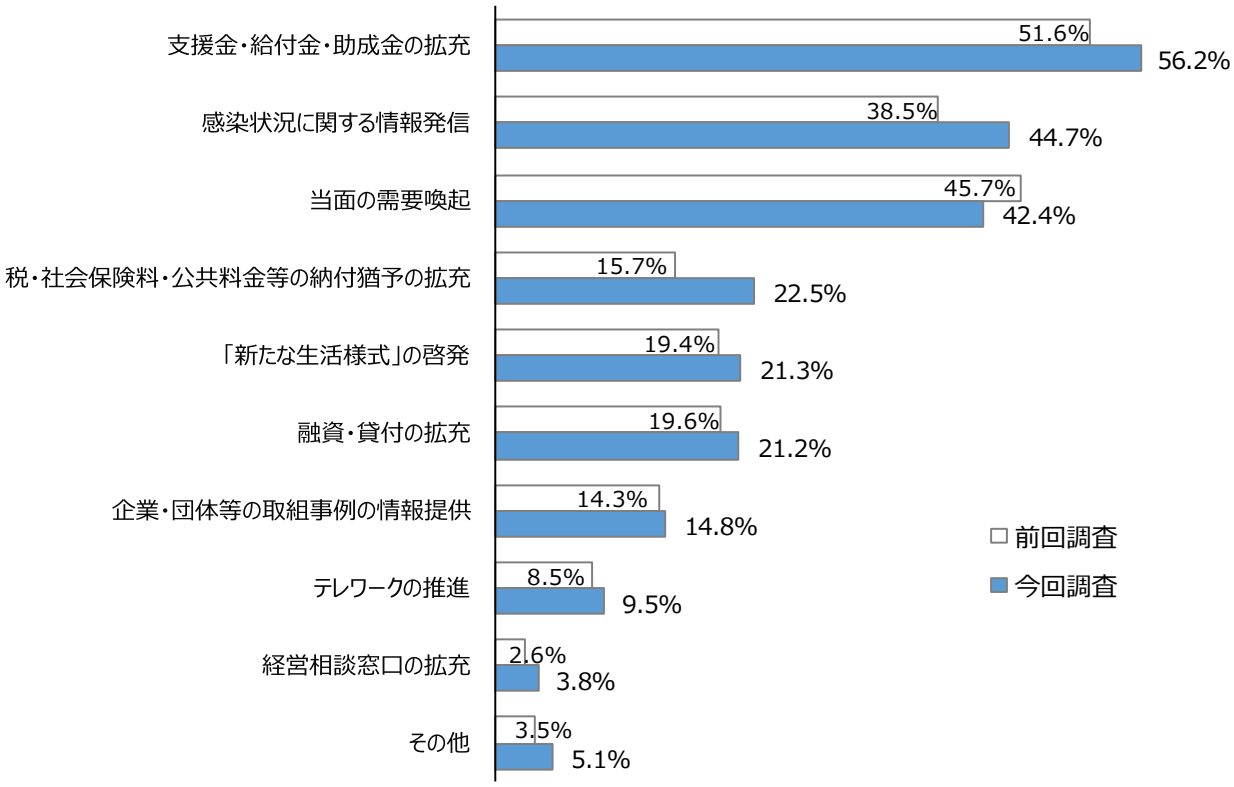
・上記の助成制度の一部または全部を活用していない場合の理由として最も多かったものは、「当面は資金に余裕がある」が 22.7%で、次いで「助成対象となりうる売上の減少がない」の 21.7%、「融資はいずれ返済が負担となる」が 11.2%となっている。

（複数回答）



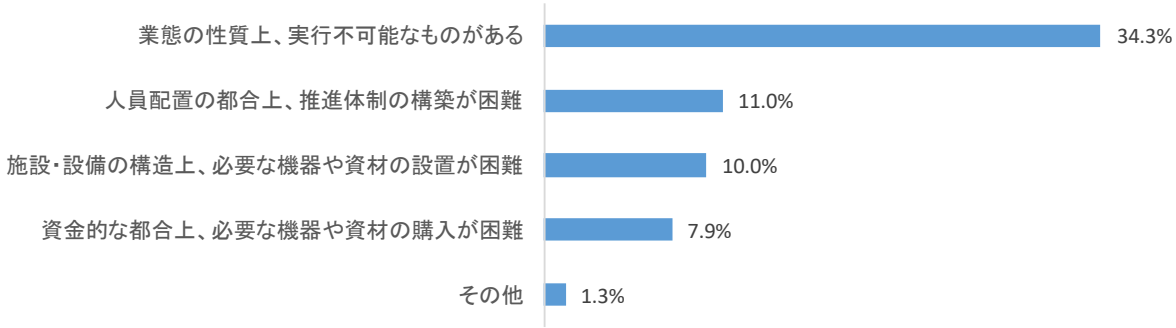
６　感染症による影響に関し、行政（国、道等）に期待すること

・最も多かった回答は「支援金･給付金･助成金の拡充」が 56.2%、次いで「感染状況に関する情報発信」の 44.7%、「当面の需要喚起」が 42.4%となっている。（複数回答）

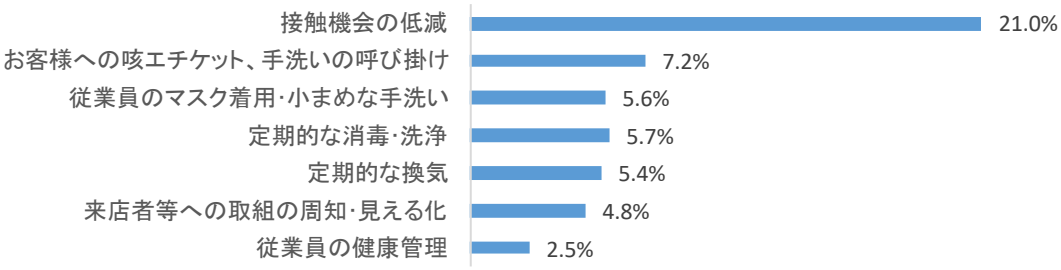


７　「新北海道スタイル」について取組が困難な理由

・最も多かった回答は「業務の性質上、実行不可能なものがある」の 34.3%で、次いで「人員配置の都合上、推進体制の構築が困難」が 11.0%となっている。（複数回答）



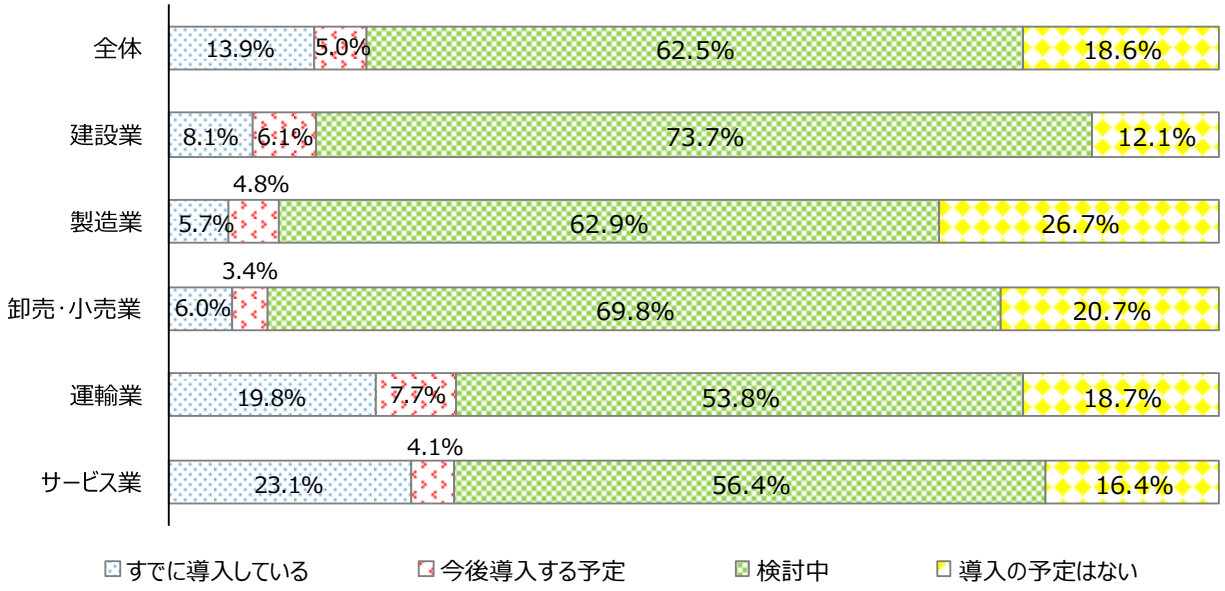
※上記の「業態の性質上、実行不可能なものがある」の内容（複数回答）



８　「北海道コロナ通知システム」の導入状況

・全体では、「すでに導入している」が 13.9%、「今後導入する予定」が 5.0%、「検討中」が 62.5%となっている。

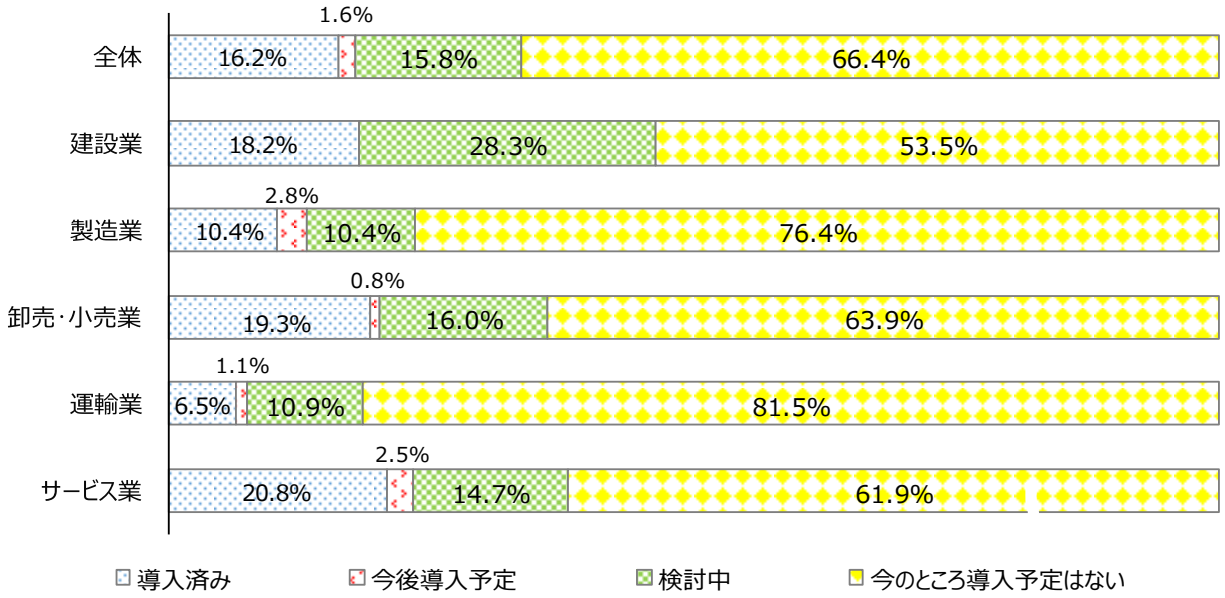
・業種別では、「すでに導入している」がサービス業で 23.1%と最も高くなっている。



９　テレワークの導入状況

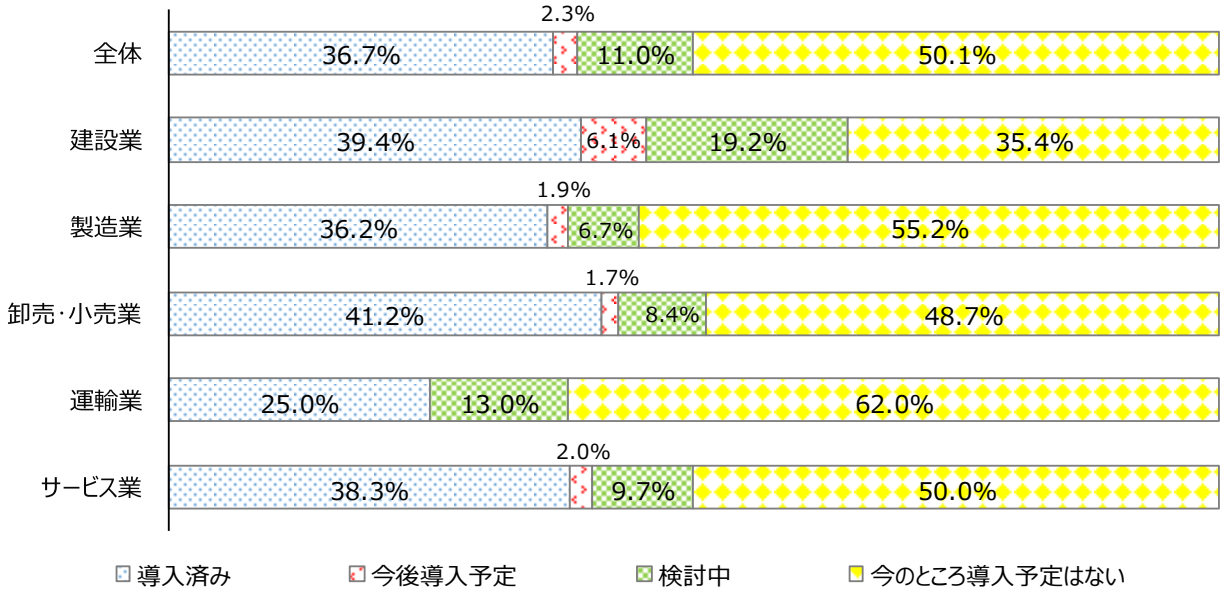
・全体では、「導入済み」が 16.2%、「今後導入予定」が 1.6%、「検討中」が 15.8%となっている。

・業種別では、「導入済み」がサービス業で 20.8%と最も高くなっている。



10　デジタル会議の導入状況

・全体では、「導入済み」が 36.7%、「今後導入予定」が 2.3%、「検討中」が 11.0%、「今のところ導入予定はない」が 50.1%となっている。
・業種別では、「導入済み」が卸売･小売業で 41.2%と最も高くなっている。

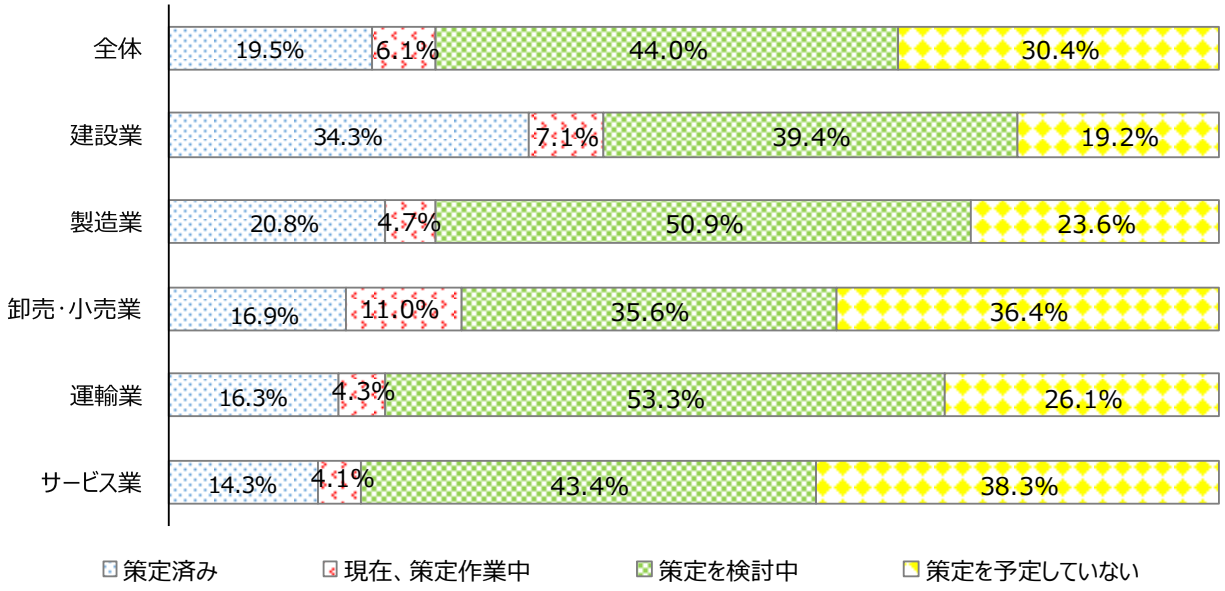


２　事業継続の取組について

（１）事業継続計画（ＢＣＰ）または事業継続力強化計画の策定状況

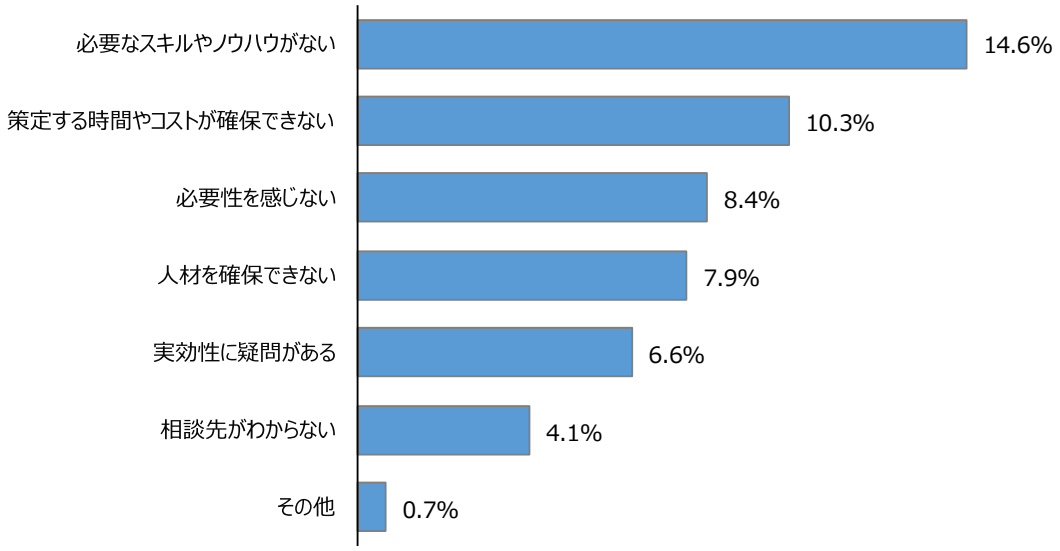
・ＢＣＰ等の策定状況については、全体では「策定済み」が 19.5%、「現在、策定作業中」が 6.1%、「策定を検討中」が 44.0%、「策定を予定していない」が 30.4%となっている。

・業種別では、「策定済み」が建設業で 34.3%と最も高くなっている。



（２）「策定を予定していない」理由

・策定を予定していない理由については、「必要なスキルやノウハウがない」が 14.6%、「策定する時間やコストが確保できない」が 10.3%、「必要性を感じない」が 8.4%、「人材を確保できない」が 7.9%、「実効性に疑問がある」が 6.6%、「相談先がわからない」が 4.1%となっている。



4　調査方法

１ 調査内容

道内の企業経営者に対し、自社の経営状況や景気の見通し、経営を取り巻く環境変化などについて四半期毎に調査を実施

２ 調査時点

令和 2 年 12 月 31 日

３ 調査方法

「郵送」又は「インターネット」によるアンケート調査

４ 調査対象及び回答企業数

区　分			調査対象企業数（A）	回答企業数（B）	回答率（B／A・%）
総　計			**900**	**590**	**65.6**
	札幌市を除く		700	467	66.7
	札幌市		200	123	61.5
業種	建設業		125	98	78.4
	製造業		150	100	66.7
	卸売･小売業		189	118	62.4
	運輸業		131	86	65.6
	サービス業		305	188	61.6
資本金	5千万円未満		617	393	63.7
	5千万以上～1億円未満		157	112	71.3
	1億円以上		126	85	67.5
地域	道南		109	73	67.0
	道央		382	257	67.3
		札幌市を除く	182	134	73.6
		札幌市	200	123	61.5
	道北		132	81	61.4
	オホーツク		89	58	65.2
	十勝		94	61	64.9
	釧路・根室		94	60	63.8

(注)［道南］・・・・・渡島総合振興局、檜山振興局
［道央］・・・・・空知総合振興局、石狩振興局、後志総合振興局、胆振総合振興局、日高振興局
［道北］・・・・・上川総合振興局、留萌振興局、宗谷総合振興局
［オホーツク］・・オホーツク総合振興局
［十勝］・・・・・十勝総合振興局
［釧路・根室］・・釧路総合振興局、根室振興局

５ ＢＳＩ（Business Survey Index）指標について

この調査では、企業経営者の業況感等について、当該四半期の状況を前年同期と比較して（景況感は前期）、「上昇」「横ばい」「下降」の選択肢により調査し、各ＢＳＩ指標を次により算出。

ＢＳＩ＝（「上昇」とする企業の割合（%））－（「下降」とする企業の割合（%））
（－100≦ＢＳＩ≦100）

【計算例（企業数：200 社)】

業況感について、「上昇」とした企業 20 社、「横ばい」とした企業 120 社、「下降」とした企業 60 社の場合

$$\frac{20\text{社}}{200\text{社}}\times 100 - \frac{60\text{社}}{200\text{社}}\times 100 = 10\% - 30\% = -20$$

よって、この場合の業況感ＢＳＩはマイナス 20　　※小数点以下の端数がある場合は四捨五入

その先の、道へ。北海道

企業経営者意識調査（第 128 回）

令和３年２月発行

編集・発行北海道経済部経済企画局経済企画課
ＴＥＬ011-204-5139

「企業経営者意識調査」の結果は、経済企画課のウェブサイトでもご覧いただけます。

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/bsi.htm